



OPH-5000i

無線 LAN 内蔵 2次元ハンディターミナル

標準アプリケーションバッチモード



OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード取扱説明書

第6版 2020年6月発行

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO.,LTD.

All rights reserved.

株式会社オプトエレクトロニクス

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書は、無線 LAN 内蔵 2 次元ハンディターミナルの取り扱い方法について説明するものです。ご使用前によくお読みになり、正しく安全にお使いください。

ご注意

- ・ 本書の内容は、製品の仕様変更などにより予告無く変更される場合があります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、内容に納入仕様書との差異がある場合は、納入仕様書の内容を適用します。
- ・ 本書を印刷する場合は A4 用紙をご指定ください。

著作権について

- ・ 本書の内容はすべて著作権に保護されています。本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、翻訳、変更することは禁じられています。

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO.,LTD. All rights reserved.

商標・登録商標について

- ・ 本書に記載されている会社名、商品名などは、それぞれ各社の登録商標および商標です。

運用に関しては、事前に実機によるテストを十分行ってください。

目次

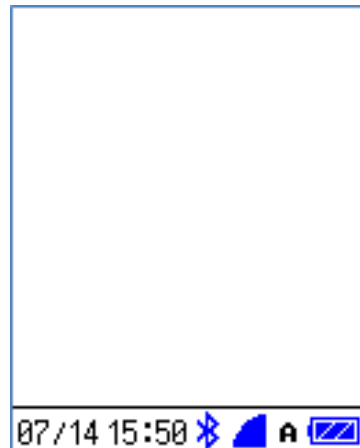
はじめに	ii
1 OPH-5000i ステータス表示仕様	1
2 標準アプリケーションバッチモード画面遷移図	2
2.1 メインメニュー画面説明	3
2.1.1 メインメニュー画面遷移	3
2.1.2 メインメニュー画面操作説明	4
2.1.3 メインメニュー設定変更内容	4
2.2 収集業務共通動作説明	5
2.3 入荷業務画面説明	6
2.3.1 入荷業務画面遷移	6
2.3.2 入荷業務画面操作説明	7
2.3.3 入荷業務設定変更内容	8
2.4 出荷業務画面説明	9
2.4.1 出荷業務画面遷移	9
2.4.2 出荷業務画面操作説明	10
2.4.3 出荷業務設定変更内容	11
2.5 棚卸業務画面説明	12
2.5.1 棚卸業務画面遷移	12
2.5.2 棚卸業務画面操作説明	13
2.5.3 棚卸業務設定変更内容	14
2.6 照合業務画面説明	15
2.6.1 照合業務画面遷移	15
2.6.2 照合業務画面操作説明	16
2.6.3 照合業務設定変更内容	16
2.7 コードチェッカ業務画面説明	17
2.7.1 コードチェッカ業務画面遷移	17
2.7.2 コードチェッカ業務画面操作説明	17
2.8 ファイル送受信業務画面説明	18
2.8.1 ファイル送受信業務画面遷移	18
2.8.2 ファイル送受信画面(Bluetooth)操作説明	19
2.8.3 ファイル送受信設定変更内容	19
2.8.4 Bluetooth 通信時間の注意事項	19
2.8.5 Bluetooth 通信エラーコード	20

2.9	ファイル削除業務画面説明	21
2.9.1	ファイル削除業務画面遷移	21
2.9.2	ファイル削除業務画面操作説明	22
2.9.3	ファイル削除業務設定変更内容	22
2.10	FTP 送信業務画面説明	23
2.10.1	FTP 送信業務画面操作説明	24
2.10.2	FTP 送信業務設定変更内容	25
2.11	FTP 受信業務画面説明	25
2.11.1	FTP 受信画面(無線 LAN)操作説明	26
2.11.2	ファイル受信設定変更内容	26
2.11.3	FTP 送受信エラーコード	27
2.12	端末設定業務画面説明	28
2.12.1	端末設定業務画面遷移	28
2.12.2	端末設定業務画面操作説明	31
2.13	バーコード読み取り条件設定画面説明	35
2.13.1	バーコード読み取り条件設定画面遷移	35
2.13.2	バーコード読み取り条件設定画面操作説明	42
2.14	使用キー概要説明	51
2.15	ファイルレイアウト	52
3	設定ファイル仕様	53
3.1	タイトル設定項目	54
3.1.1	タイトル設定変更画面例	55
3.2	メニュー設定項目	56
3.2.1	メニュー設定変更画面例	57
3.3	業務設定項目	58
3.3.1	業務設定項目変更画面例	61
3.4	ファイル設定項目	62
3.5	照合設定項目	63
3.6	マスタ・ファイル設定項目	64
3.7	設定ファイルエラーコード	65
3.8	Bluetooth 通信設定項目	67
3.9	FTP 通信設定項目	68
3.10	バーコード読み取り条件設定項目	69
4	通信環境設定手順	72

4.1	セットアップ	73
4.1.1	OseComm32 のインストール方法[PC 設定]	73
4.1.2	OseComm32 の日本語表示方法[PC 設定]	78
4.1.3	Bluetooth を使用する場合の設定方法[PC 設定]	80
4.1.4	OseComm32 通信開始方法[PC 設定]	84
4.1.5	OPH-5000i の起動アプリケーション[OPH-5000i 設定]	86
4.2	通信事前準備	88
4.2.1	シリアル通信による設定[PC 設定]	88
4.2.2	OPH-5000i 側通信事前準備[OPH-5000i 設定]	89
4.3	通信実施	92
4.3.1	入荷業務方法	92
4.3.2	ファイル送受信	94
4.4	サンプルバーコード	96
改版履歴		98

1 OPH-5000i ステータス表示仕様

画面下部 16 ドットはシステムステータス表示領域となります。



表示内容	ステータス
システム日付	システム日付を MM/DD HH:MM 形式で表示します。
Bluetooth 状態	Bluetooth 有効時、Bluetooth マークが表示されます。 Bluetooth 無効時、Bluetooth マークが表示されません。  : Bluetooth 有効
WLAN 状態	無線 LAN 有効時、電波強度が表示されます。 無線 LAN 無効時、無線 LAN マークが表示されません。  : 電波強度 強  : 電波強度 中  : 電波強度 弱  : アクセスポイント未接続時
入力状態	A : 文字入力状態 (シフト ON) 1 : 数字入力状態 (シフト OFF)
バッテリー状態	バッテリーの状態が表示されます。  : 50%以上の残量があります。  : 50%未満 30%以上の残量があります。  : 使用を止め充電を行ってください。  : 使用できません、充電を行ってください。

2 標準アプリケーションバッチモード画面遷移図

本製品にプリインストールされている共通アプリケーションの仕様を説明します。

2.1. メインメニュー画面説明

2.2. 入荷業務画面説明

2.3. 出荷業務画面説明

2.4. 棚卸業務画面説明

2.5. 収集業務共通動作説明

2.6. 照合業務画面説明

2.7. コードチェッカ画面説明

2.8. ファイル削除画面説明

2.9. ファイル送受信画面説明

2.10. FTP 送信画面説明

2.11. FTP 受信画面説明

2.12. 端末設定画面説明

2.13. バーコード読取条件設定画面説明

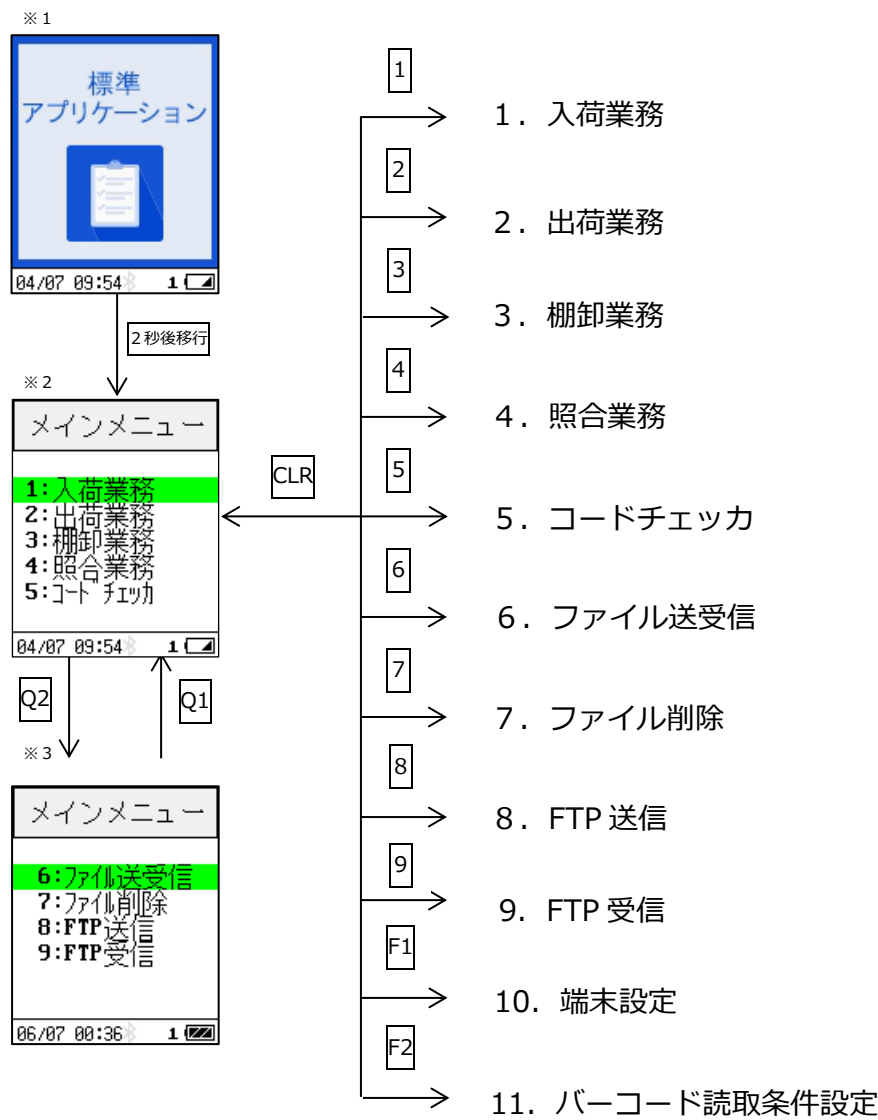
2.14. 使用キー説明

2.15. ファイルレイアウト

2.1 メインメニュー画面説明

メインメニューの処理を説明します。

2.1.1 メインメニュー画面遷移



※設定ファイルのメニュー項目にてメニュー項目の変更が可能です。

※設定ファイルのメニュー項目の初期値は上記の通りです。

2.1.2 メインメニュー画面操作説明

画 面	※1 標準アプリケーションタイトル表示画面
処理概要	標準アプリケーションのタイトルを2秒間表示します。

画 面	※2 メインメニュー画面1
処理概要	業務の選択を行います。
操作キー	数字キー：メニュー番号に対応した業務に移行します。 F1 キー：端末設定業務に移行します。 F2 キー：バーコード読取条件設定業務に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：カーソルのモードを決定し、各モードに移行します。

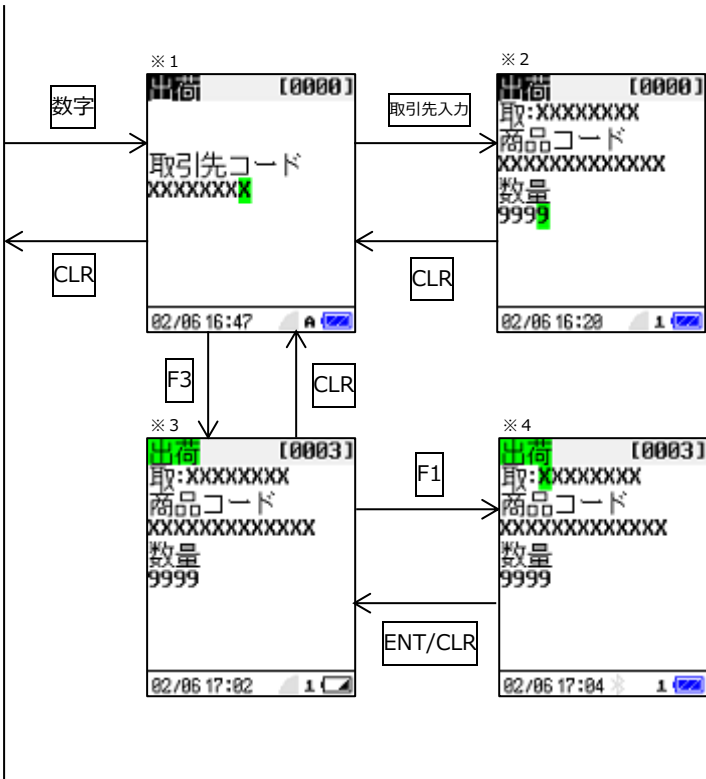
画 面	※3 メインメニュー画面2
処理概要	業務の選択を行います。
操作キー	数字キー：メニュー番号に対応した業務に移行します。 F1 キー：端末設定業務に移行します。 F2 キー：バーコード読取条件設定業務に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：カーソルのモードを決定し、各モードに移行します。

2.1.3 メインメニュー設定変更内容

表示設定	・業務数（最大8業務まで） ・メインタイトル（最大16桁まで）
ファイル設定	・業務ファイル名（最大8業務まで） ・ファイル形式設定（CSV、TSV）

詳細は、**P エラー! ブックマークが定義されていません。 「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」**参照

2.2 収集業務共通動作説明

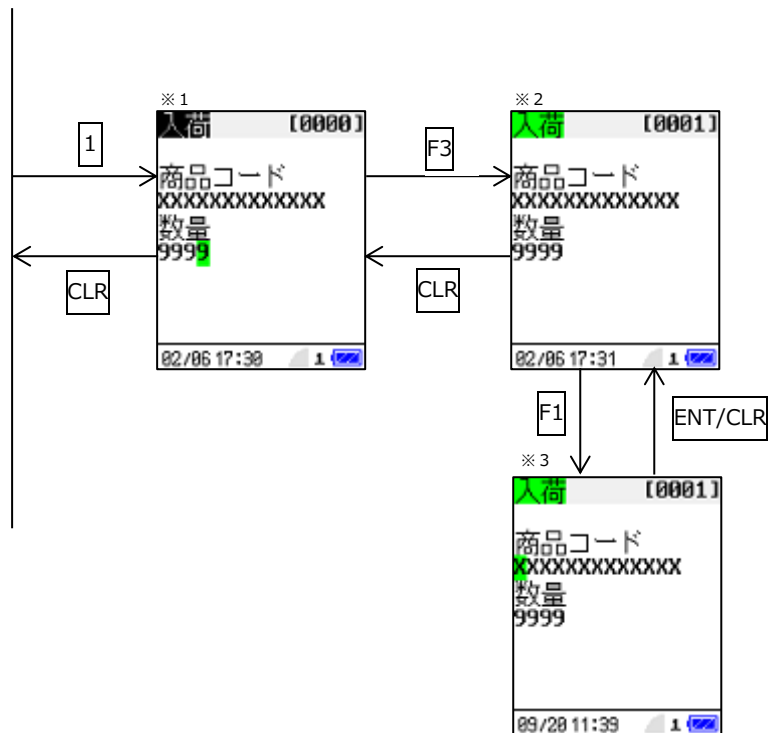


入力動作	入力操作フロー □□コード入力→△△コード入力→数量入力→△△コード入力……と繰り返します。 数量入力時にバーコード入力することで連続入力が可能です。 F3 キー押下で参照モードに移行します。 参照モードでは Q1/Q2 にて表示データを切り替えます。(Q1:旧データ方向,Q2:新データ方向) 参照モード時、F1 キー押下でデータ変更モードへ移行します。 ENT キー押下で変更データを保存し、参照モードへ移行します。 ※データを変更保存した場合、読取りバーコード種別情報は無くなり、データ収集日時はデータ変更日時に変更されます。 CLR キー押下で変更データを保存せず、参照モードへ移行します。
------	--

2.3 入荷業務画面説明

入荷業務の処理を説明します。

2.3.1 入荷業務画面遷移



※設定ファイルのタイトル項目にて業務タイトルの変更が可能です。

※設定ファイルの業務項目にて項目数、項目名、位置、入力形式、入力桁数の設定が可能です。

2.3.2 入荷業務画面操作説明

画 面	※ 1 入荷業務画面	
処理概要	入荷業務処理を行います。	
項 目	商品コード	スキャン・手入力にて商品コードの入力を行います。 SCAN キー：バーコードを読み取り数量項目に移行します。 数字キー：商品コードの入力を行います。 ENT キー：商品コードの確定を行い、数量項目に移行します。 BS キー：手入力時にバックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューへ移行します。 F3 キー：入力済み入荷データを参照します。(※2 に移行します。)
	数 量	数量の入力を行います。 SCAN キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 Q1 キー：前項目に戻ります。 数字キー：数量の入力を行います。 ENT キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 BS キー：手入力時にバックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューへ移行します。 ドットキー：小数点の入力を行います。先頭で押下することでマイナス入力となります。

画 面	※2 入荷業務入力データ参照画面	
処理概要	入荷業務の入力データ参照を行います。直近に入力したデータより表示します。	
項 目	商品コード	入力済み入荷データの参照を行います。
	数 量	Q1 キー : 1 つ前の入力済みデータを参照します。 Q2 キー : 1 つ後の入力済みデータを参照します。 CLR キー : 参照モードを終了して※1に戻ります。

画 面	※3 入荷業務入力データ変更画面	
処理概要	入荷業務の入力データ変更を行います。	
項 目	商品コード	入力済み入荷データの変更を行います。
	数 量	Q1 キー : 右方向へカーソルが進みます。 Q2 キー : 右方向へカーソルが進みます。 CLR キー : 変更データを保存せずに変更モードを終了して※2に戻ります。 ENT キー : 変更データを保存後、変更モードを終了して※2に戻ります。

2.3.3 入荷業務設定変更内容

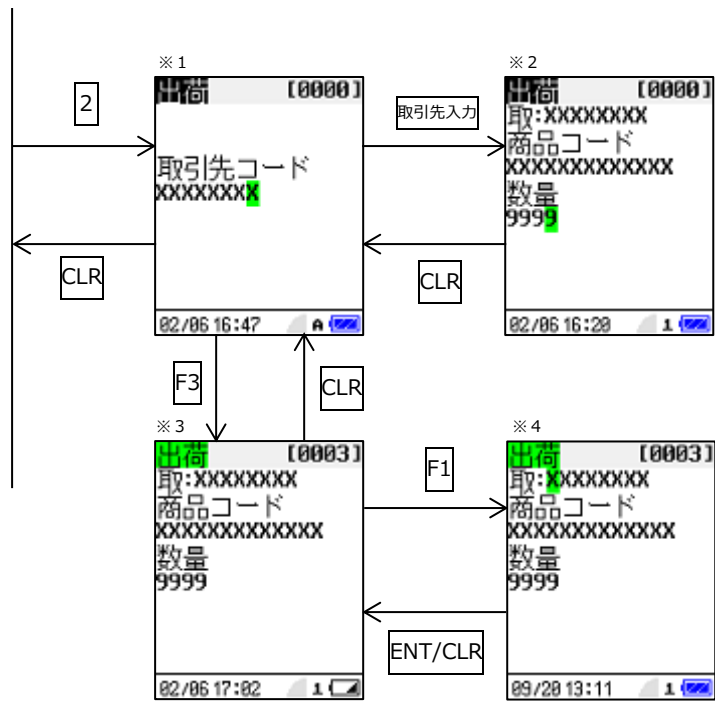
表示設定	・各項目名（最大 16 桁まで） ・各項目の表示位置（縦位置、横位置、ページ）
入力設定	・入力形式（手入力のみ、スキャン／手入力、スキャンのみ） ・入力桁数（最大 250 桁） ・入力位置（縦位置、横位置、ページ）

詳細は、P58 「3.3 業務設定項目」参照

2.4 出荷業務画面説明

出荷業務の処理を説明します。

2.4.1 出荷業務画面遷移



- ※設定ファイルのタイトル項目にて業務タイトル名の変更が可能です。
- ※設定ファイルの業務項目にて項目数、項目名、入力位置、入力形式、入力桁数の設定が可能です。

2.4.2 出荷業務画面操作説明

画 面	※ 1 出荷業務画面 1	
処理概要	出荷業務取引先コード入力処理を行います。	
項 目	取引先 コード	スキャン・手入力にて取引先コードの入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読取り ※ 2 の商品コード入力に移行します。 数字キー：取引先コードの入力を行います。 ENT キー：取引先コードの確定を行い、※ 2 の商品コード入力に移行します。 BS キー：バックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。 F3 キー：入力済み出荷データを参照します ※ 3 に移行します。

画 面	※ 2 出荷業務画面 2	
処理概要	出荷業務処理を行います。	
項 目	商品コード	スキャン・手入力にて商品コードの入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読取り数量項目に移行します。 数字キー：商品コードの入力を行います。 ENT キー：商品コードの確定を行い、数量項目に移行します。 Q1 キー：※ 1 の取引先コード入力に戻ります。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。
	数 量	数量の入力を行います。
		SCAN キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 数字キー：数量の入力を行います。 ENT キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 Q1 キー：商品コード入力に戻ります。 BS キー：バックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。 ドットキー：小数点の入力を行います。先頭で押下することでマイナス入力となります。

画 面	※3 出荷業務入力データ参照画面	
処理概要	出荷業務の入力データ参照を行います、直近に入力したデータより表示します。	
項 目	取引先	入力済み出荷データの参照を行います。
	商品コード	Q1 キー : 1 つ前の入力済みデータを参照します。
	数 量	Q2 キー : 1 つ後の入力済みデータを参照します。 CLR キー : 参照モードを終了して ※1 に戻ります。

画 面	※4 出荷業務入力データ変更画面	
処理概要	出荷業務の入力データ変更を行います。	
項 目	取引先	入力済み出荷データの変更を行います。
	商品コード	Q1 キー : 右方向へカーソルが進みます。
	数 量	Q2 キー : 右方向へカーソルが進みます。 CLR キー : 変更データを保存せずに変更モードを終了して※2 に戻ります。 ENT キー : 変更データを保存後、変更モードを終了して※2 に戻ります。

2.4.3 出荷業務設定変更内容

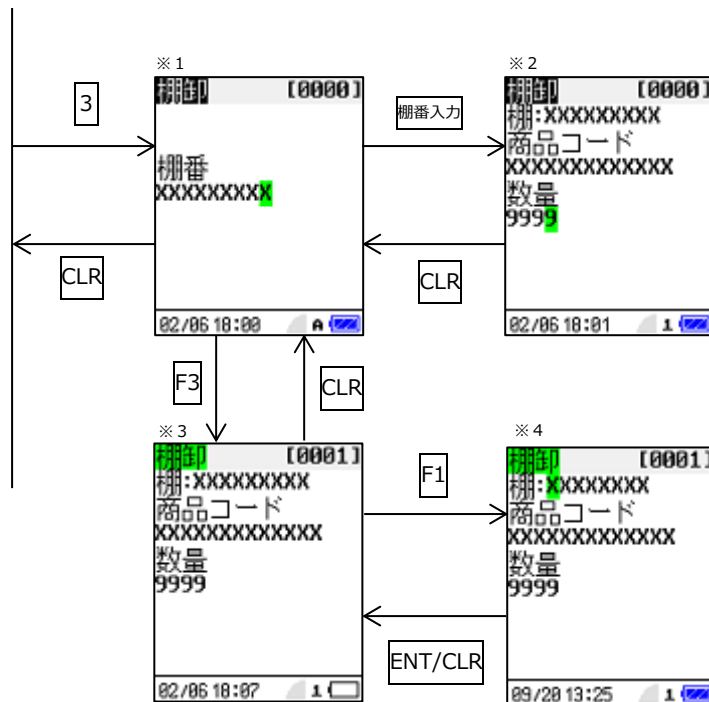
表示設定	・各項目名（最大 16 桁まで） ・各項目の表示位置（縦位置、横位置、ページ）
入力設定	・入力形式（手入力のみ、スキャン／手入力、スキャンのみ） ・入力桁数（最大 250 桁） ・入力位置（縦位置、横位置、ページ）

詳細は、P58 「3.3 業務設定項目」参照

2.5 棚卸業務画面説明

棚卸業務の処理を説明します。

2.5.1 棚卸業務画面遷移



※設定ファイルのタイトル項目にて業務タイトル名の変更が可能です。

※設定ファイルの業務項目にて項目数、項目名、入力位置、入力形式、入力桁数の設定が可能です。

2.5.2 棚卸業務画面操作説明

画 面	※ 1 棚卸業務画面 1	
処理概要	棚卸業務処理を行います。	
項 目	棚番 コード	スキャン・手入力にて棚番コードの入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読取り ※ 2 の商品コード入力に移行します。 数字キー：棚番コードの入力を行います。 ENT キー：棚番コードの確定を行い、※ 2 の商品コード入力に移行します。 BS キー：バックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。 F3 キー：入力済み棚卸データの参照を行います ※ 3 に移行します。

画 面	※ 2 棚番業務画面 2	
処理概要	棚番業務処理を行います。	
項 目	商品コード	スキャン・手入力にて商品コードの入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読取り数量項目に移行します。 数字キー：商品コードの入力を行います。 ENT キー：商品コードの確定を行い、数量項目に移行します。 Q1 キー：※ 1 棚番コード入力に戻ります。 BS キー：バックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。
	数 量	数量の入力を行います。
		SCAN キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 数字キー：数量の入力を行います。 ENT キー：数量を確定し、データ登録後に商品コード入力に移行します。 Q1 キー：商品コード入力に戻ります。 BS キー：バックスペースとして使用します。 CLR キー：項目のクリアを行います。未入力時はメインメニューに戻ります。 ドットキー：小数点の入力を行います。先頭で押下することでマイナス入力となります。

画 面	※3 棚卸業務入力データ参照画面	
処理概要	棚卸業務の入力データ参照を行います、直近に入力したデータより表示します。	
項 目	棚番コード	入力済み棚卸データの参照を行います。
	商品コード	Q1 キー：1 つ前の入力済みデータを参照します。
	数 量	Q2 キー：1 つ後の入力済みデータを参照します。 CLR キー：参照モードを終了し ※1 に戻ります。

画 面	※4 棚卸業務入力データ変更画面	
処理概要	棚卸業務の入力データ変更を行います。	
項 目	棚番コード	入力済み棚卸データの参照を行います。
	商品コード	Q1 キー：右方向へカーソルが進みます。
	数 量	Q2 キー：右方向へカーソルが進みます。 CLR キー：変更データを保存せずに変更モードを終了して※2 に戻ります。 ENT キー：変更データを保存後、変更モードを終了して※2 に戻ります。

2.5.3 棚卸業務設定変更内容

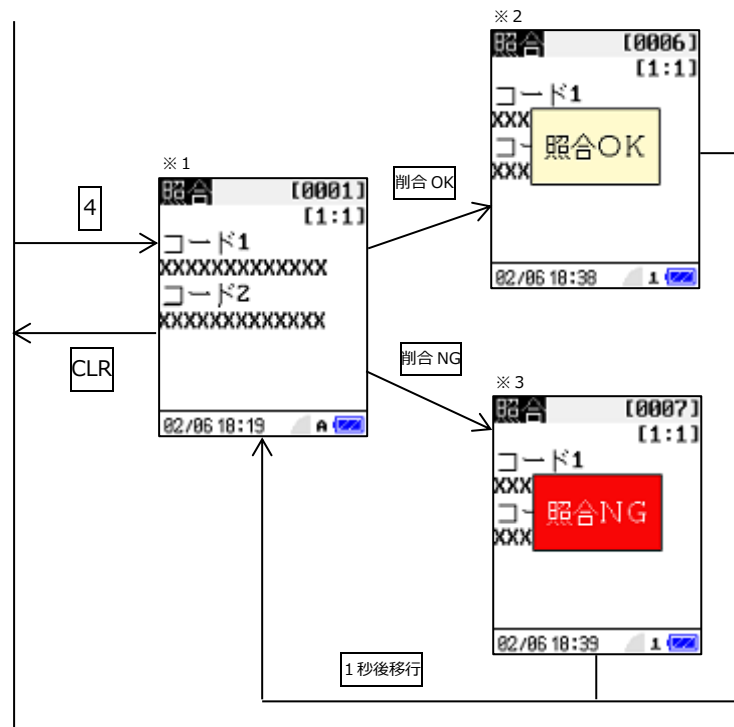
表示設定	・各項目名（最大 16 桁まで） ・各項目の表示位置（縦位置、横位置、ページ）
入力設定	・入力形式（手入力のみ、スキャン／手入力、スキャンのみ） ・入力桁数（最大 250 桁） ・入力位置（縦位置、横位置、ページ）

詳細は、P58 「3.3 業務設定項目」参照

2.6 照合業務画面説明

照合業務の処理を説明します。

2.6.1 照合業務画面遷移



- ※設定ファイルのタイトル項目にて業務タイトル名の変更が可能です。
- ※設定ファイルの業務項目にて項目名、入力位置、入力形式、入力桁数の設定が可能です。
- ※設定ファイルの照合項目にて照合範囲の設定が可能です。

2.6.2 照合業務画面操作説明

画 面	※ 1 照合業務画面	
処理概要	照合業務処理を行います。	
項 目	コード 1	スキャンにてコード 1 の入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読み取りコード 2 入力に移行します。
		F1 キー：照合モードの切替えを行います。（1：1 と 1：N）
		CLR キー：メインメニューに戻ります。
	コード 2	スキャンにてコード 2 の入力を行います。
		SCAN キー：バーコードを読み取り照合を行います。
		照合結果が一致した場合は ※ 2 に移行します。 照合結果が不一致の場合は ※ 3 に移行します。
		CLR キー：コード 1 入力に戻ります。

画 面	※ 2 照合 OK 画面
処理概要	照合結果が一致した旨をアナウンスします。
遷 移	照合モードにより※ 1 のコード 1 またはコード 2 の読み取りを行います。

画 面	※ 3 照合 NG 画面
処理概要	照合結果が不一致である旨をアナウンスします。
遷 移	照合モードにより※ 1 のコード 1 またはコード 2 の読み取りを行います。

2.6.3 照合業務設定変更内容

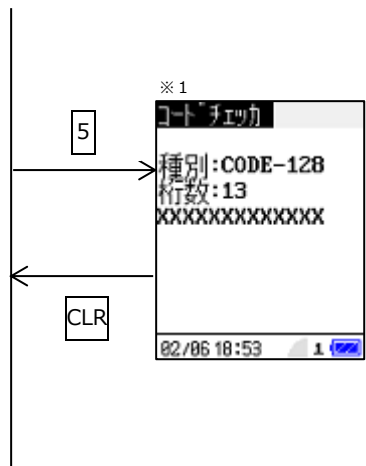
表示設定	・各項目名（最大 16 桁まで） ・各項目の表示位置（縦位置、横位置）
入力設定	・入力形式（手入力のみ、スキャン／手入力、スキャンのみ） ・入力桁数（最大 250 桁） ・入力位置（縦位置、横位置）
照合設定	・照合範囲（照合開始桁数、照合桁数） ・照合区分（コードのみ、コード／コード種別、コード種別のみ）

詳細は、P63 「3.5 照合設定項目」参照

2.7 コードチェッカ業務画面説明

コードチェッカ業務の処理を説明します。

2.7.1 コードチェッカ業務画面遷移



2.7.2 コードチェッカ業務画面操作説明

画 面	※1 コードチェッカ業務画面
処理概要	読取コードのバーコード値、種別、長さを表示します。
操作キー	SCAN キー：バーコードの読取りを行います。 Q1 キー：読取ったバーコードの前方を表示します。 Q2 キー：読取ったバーコードの後方を表示します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

2.8 ファイル送受信業務画面説明

ファイル送受信業務の処理を説明します。

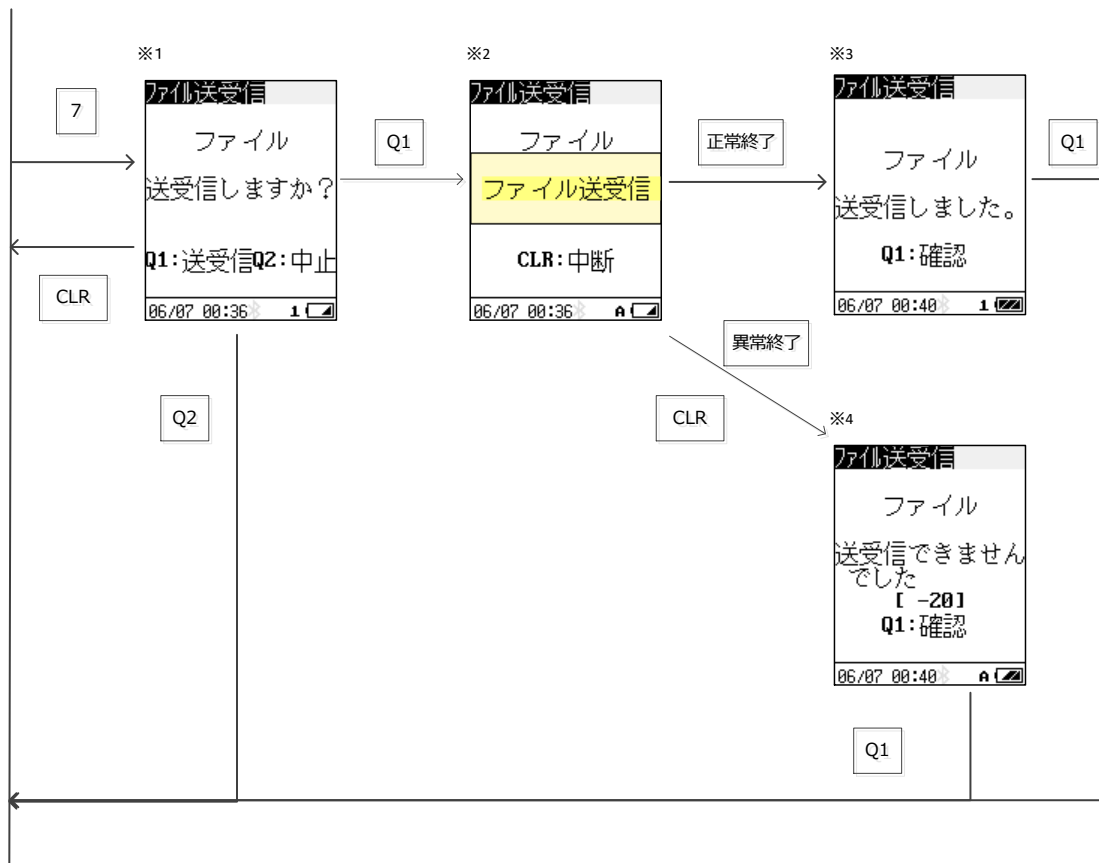
Bluetooth もしくは USB による送受信時は、選択した業務に関わらず、OseComm32 のプロトコルタスクに従ってファイルの送信・受信・削除などが行われます。

OseComm32 の詳しい設定方法につきましては、「OseComm32 ユーザマニュアル」をご参照ください。

※ファイル送信とファイル受信はファイル送受信に統合されました。

2.8.1 ファイル送受信業務画面遷移

[Bluetooth]



※設定ファイルのメニュー項目にて業務名の変更が可能です。

2.8.2 ファイル送受信画面(Bluetooth)操作説明

画 面	※1 ファイル送受信選択画面
処理概要	ファイル送受信を行うか確認します。
操作キー	Q1 キー : ファイル送受信をします。 Q2 キー : ファイル送受信を中止し、メインメニューに戻ります。 CLR キー : メインメニューに戻ります。

画 面	※2 ファイル送受信画面
処理概要	ファイル送受信中表示します。
操作キー	CLR キー : ファイル送受信を中止します。

画 面	※3 ファイル送受信正常終了画面
処理概要	ファイルが正常に通信できた旨を表示します。
操作キー	Q1 キー : メインメニューに戻ります。

画 面	※4 ファイル送受信異常終了画面
処理概要	ファイル送受信が正常に通信できなかった旨を表示します。
操作キー	Q1 キー : メインメニューに戻ります。

2.8.3 ファイル送受信設定変更内容

表示設定	・各項目名（メニュー設定項目を参照）
通信設定	・通信方式（Bluetooth） ・通信詳細設定（Bluetooth モード、アドレス等）

2.8.4 Bluetooth 通信時間の注意事項

Bluetooth 送信時には PC 側に OseComm32 をインストールしておいてください。
OseComm32 に関しては弊社((株)オプトエレクトロニクス)にお問い合わせください。

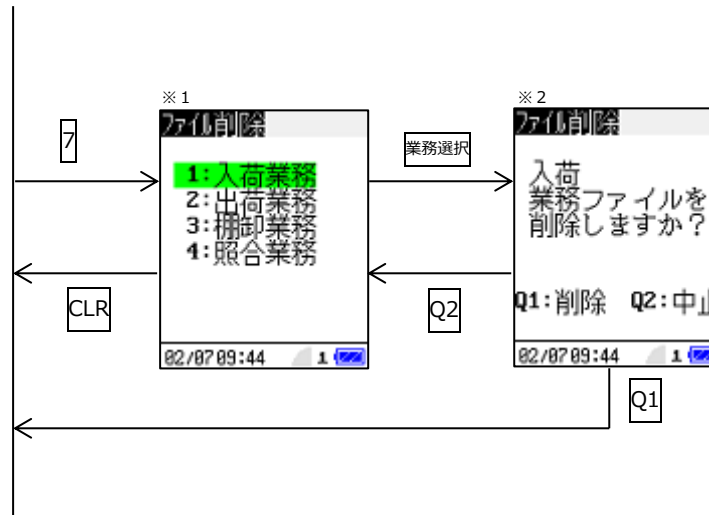
2.8.5 Bluetooth 通信エラーコード

エラー番号	エラー内容
0	正常終了
- 1	無応答
- 2	CRC エラー
- 3	受信コマンドエラー
- 4	フレーム長エラー
- 5	セッション ID エラー
- 6	送信フレームエラー
- 7	ファイルオープン（作成）エラー
- 8	ファイル読込エラー
- 9	ファイル書込エラー
- 1 0	要求ブロック番号エラー
- 1 1	ファイルサイズエラー
- 1 2	ポールコマンドエラー
- 1 3	別端末通信中エラー
- 1 5	日時設定エラー
- 1 6	ファイル削除エラー
- 2 0	中断処理

2.9 ファイル削除業務画面説明

ファイル削除業務の処理を説明します。

2.9.1 ファイル削除業務画面遷移



※設定ファイルのメニュー項目にて業務名の変更が可能です。

2.9.2 ファイル削除業務画面操作説明

画 面	※ 1 ファイル削除業務選択画面
処理概要	削除する業務ファイルを選択します。
操作キー	数字キー：各業務のファイルを選択し ※ 2 に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：業務を選択し ※ 2 に移行します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※ 2 ファイル削除確認画面
処理概要	ファイル削除をするのか確認します。
操作キー	Q1 キー：ファイルを削除し、メインメニューに戻ります。 Q2 キー：ファイルを削除せず、※ 1 に戻ります。

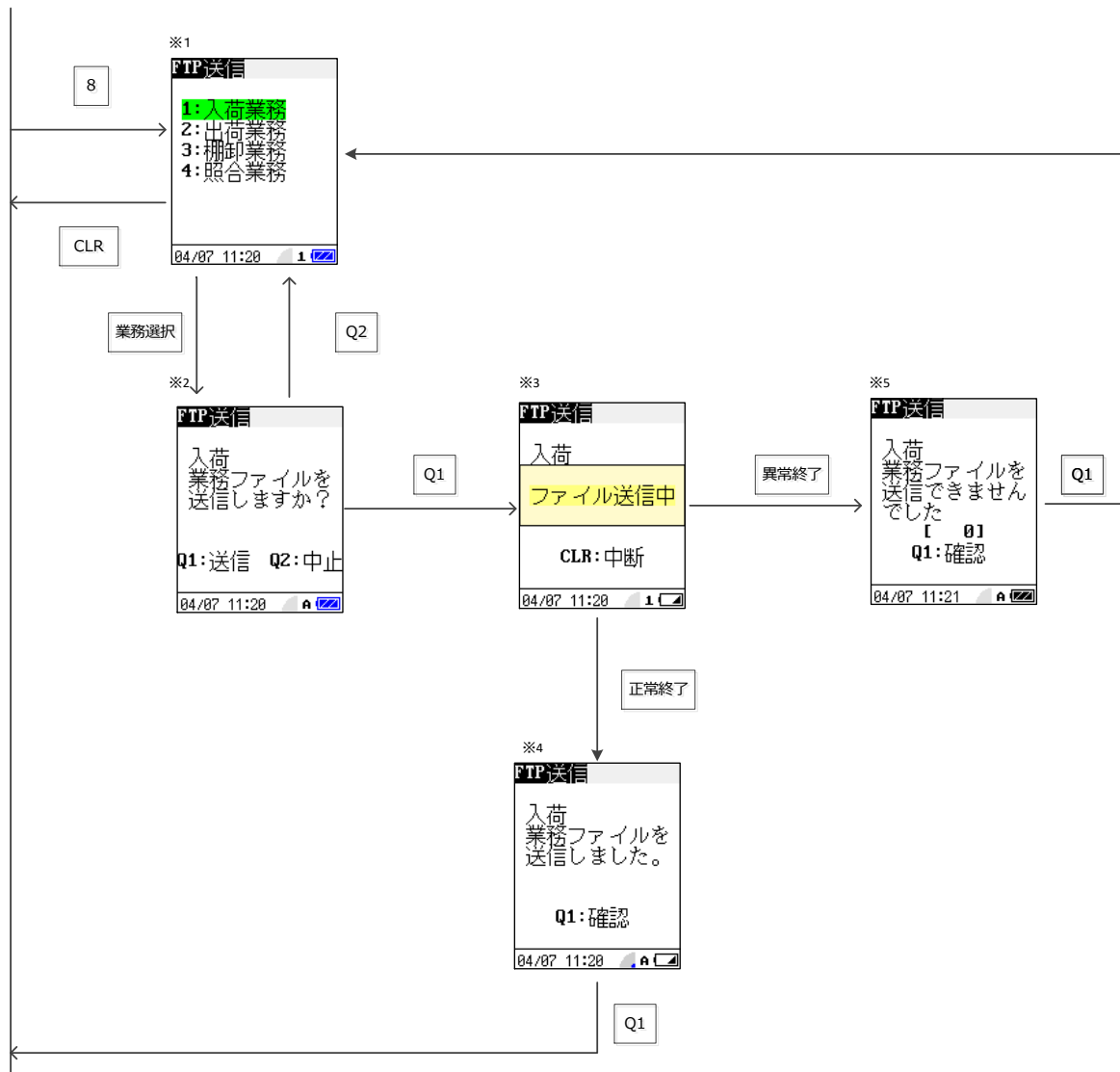
2.9.3 ファイル削除業務設定変更内容

表示設定	・各項目名（メニュー設定項目を参照）
ファイル設定	・削除ファイル名（ファイル設定項目を参照）

詳細は、P62 「3.4 ファイル設定項目」参照

2.10 FTP 送信業務画面説明

[FTP 送信]



※設定ファイルのメニュー項目にて業務名の変更が可能です。

※設定ファイルの通信項目にて通信方式の設定が可能です。

2.10.1 FTP 送信業務画面操作説明

画 面	※ 1 FTP 送信業務選択画面
処理概要	送信する業務ファイルを選択します。
操作キー	数字キー：各業務のファイルを選択し※ 2 に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：業務を選択し ※ 2 に移行します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※ 2 FTP 送信確認画面
処理概要	ファイル送信を確認します。 上位側の環境を通信できる状態になっているか確認してください。
操作キー	Q1 キー：ファイル送信を開始し、※ 3 に移行します。 Q2 キー：ファイル送信を止め、※ 1 に戻ります。

画 面	※ 3 FTP 送信経過表示画面
処理概要	ファイル送信の経過がダイアログボックスに表示されます。 ファイルが正常に送信された場合、※ 4 に移行します。 ファイルが正常に送信されなかった場合、※ 5 に移行します。
操作キー	CLR キー：送信の中断を行い ※ 5 に移行します。

画 面	※ 4 FTP 送信正常終了画面
処理概要	業務ファイルが正常に送信できた旨を表示します。
操作キー	Q1 キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※ 5 FTP 送信異常終了画面
処理概要	業務ファイルが正常に送信できなかった旨を表示します。
操作キー	Q1 キー：※ 1 に戻ります。

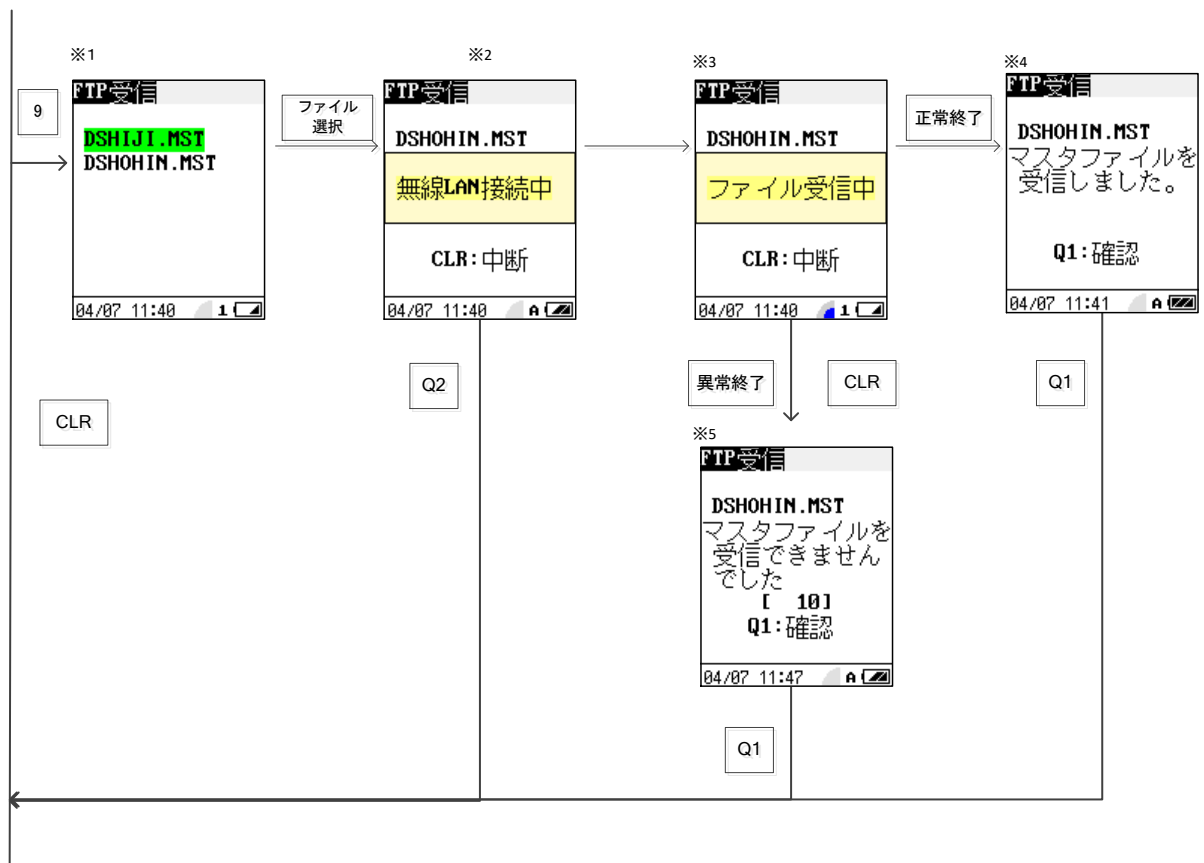
2.10.2 FTP 送信業務設定変更内容

表示設定	・ 各項目名（メニュー設定項目を参照）
通信設定	・ 通信方式（無線 LAN[FTP]、） ・ 通信詳細設定（HOST、SAVLOGIN、SAVPASS、PATH） ・ 送受信ファイル名（ファイル設定項目を参照）

詳細は、「3.9 FTP 通信ファイル設定項目」参照

2.11 FTP 受信業務画面説明

[FTP 受信]



※業務設定項目にマスタ・ファイル参照を設定する必要があります。

※設定ファイルのメニュー項目にて業務名の変更が可能です。

2.11.1 FTP 受信画面(無線 LAN)操作説明

画 面	※1 受信ファイル選択画面
処理概要	FTP 受信を行うか確認します。
操作キー	Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：受信ファイルを選択し ※2 に移行します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※2 FTP 受信確認画面
処理概要	ファイルを受信するか確認します。
操作キー	Q1 キー：ファイルを受信します。 Q2 キー：ファイル受信を中止し、メインメニューに戻ります。

画 面	※3 FTP 受信画面
処理概要	ファイル受信中表示します。
操作キー	CLR キー：ファイル受信を中止します。

画 面	※4 FTP 受信正常終了画面
処理概要	ファイルが正常に受信できた旨を表示します。
操作キー	Q1 キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※5 FTP 受信異常終了画面
処理概要	ファイルが正常に受信できなかった旨を表示します。
操作キー	Q1 キー：メインメニューに戻ります。

2.11.2 ファイル受信設定変更内容

表示設定	・各項目名（メニュー設定項目を参照）
通信設定	・通信方式（無線 LAN[FTP]、Bluetooth） ・通信詳細設定（HOST、SAVLOGIN、SAVPASS、PATH）

2.11.3 FTP 送受信エラーコード

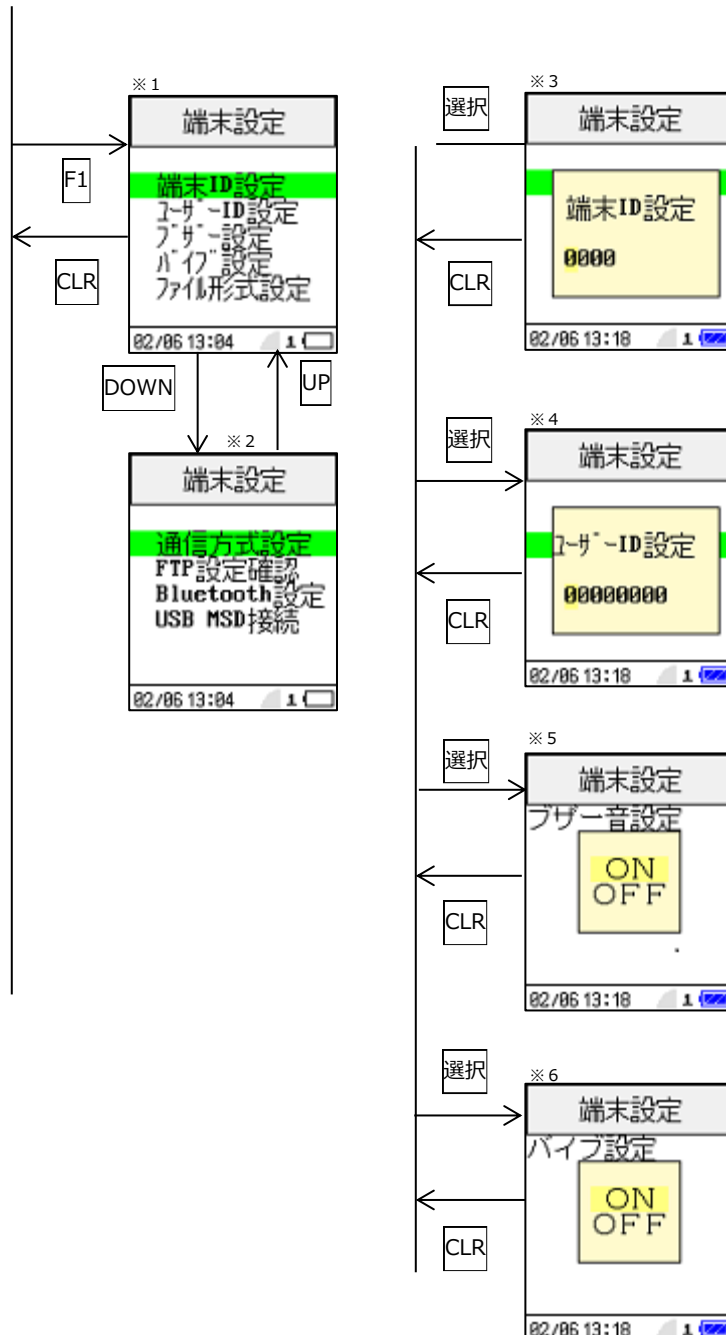
エラー番号	エラー内容
- 1	通信エラー
0	正常終了
1	初期化エラー
2	ユーザー名エラー
3	パスワードエラー
4	タイプ設定エラー
5	パッシブモード移行エラー
6	STOR コマンドエラー
7	ファイルリネームエラー
9	RETR コマンドエラー
1 0	通信中断
11	ログアウトエラー

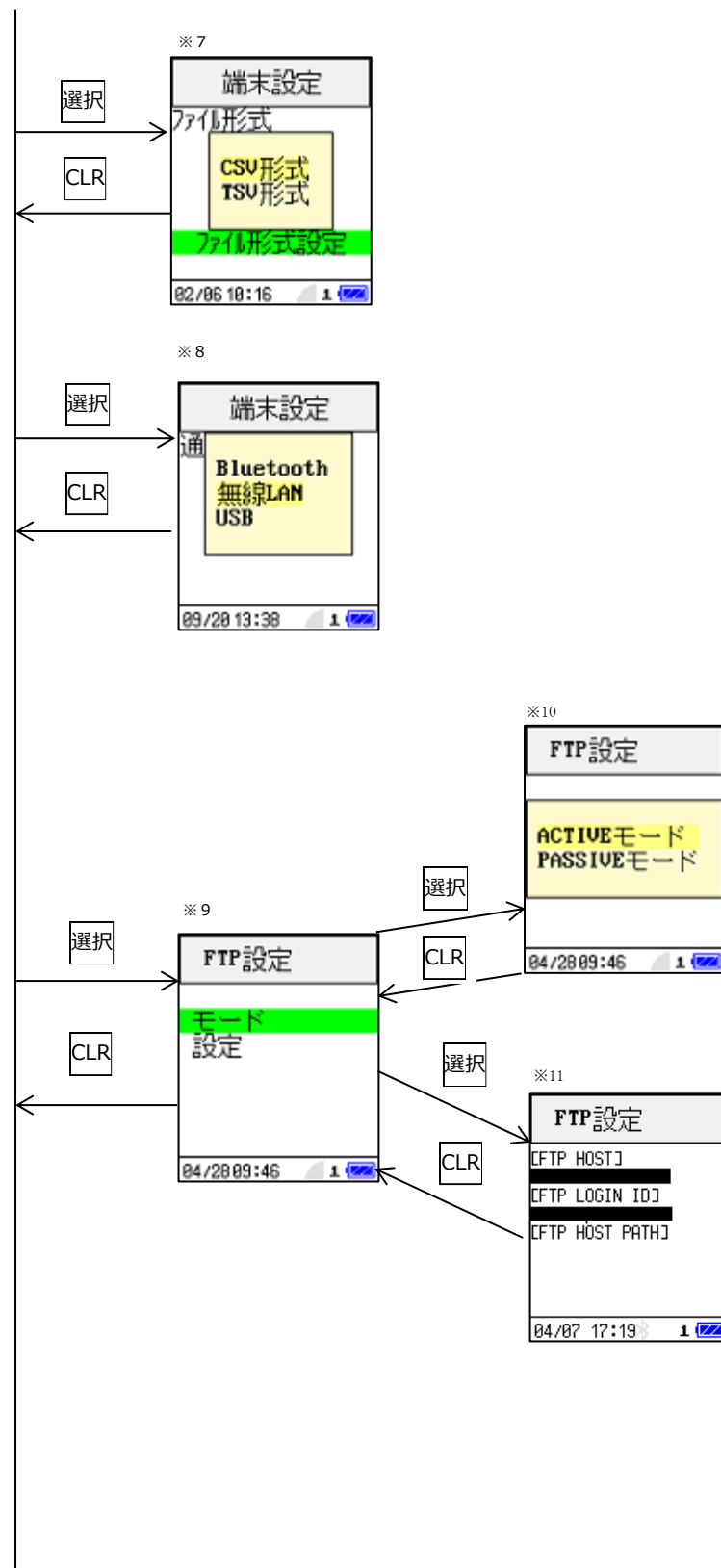
2.12 端末設定業務画面説明

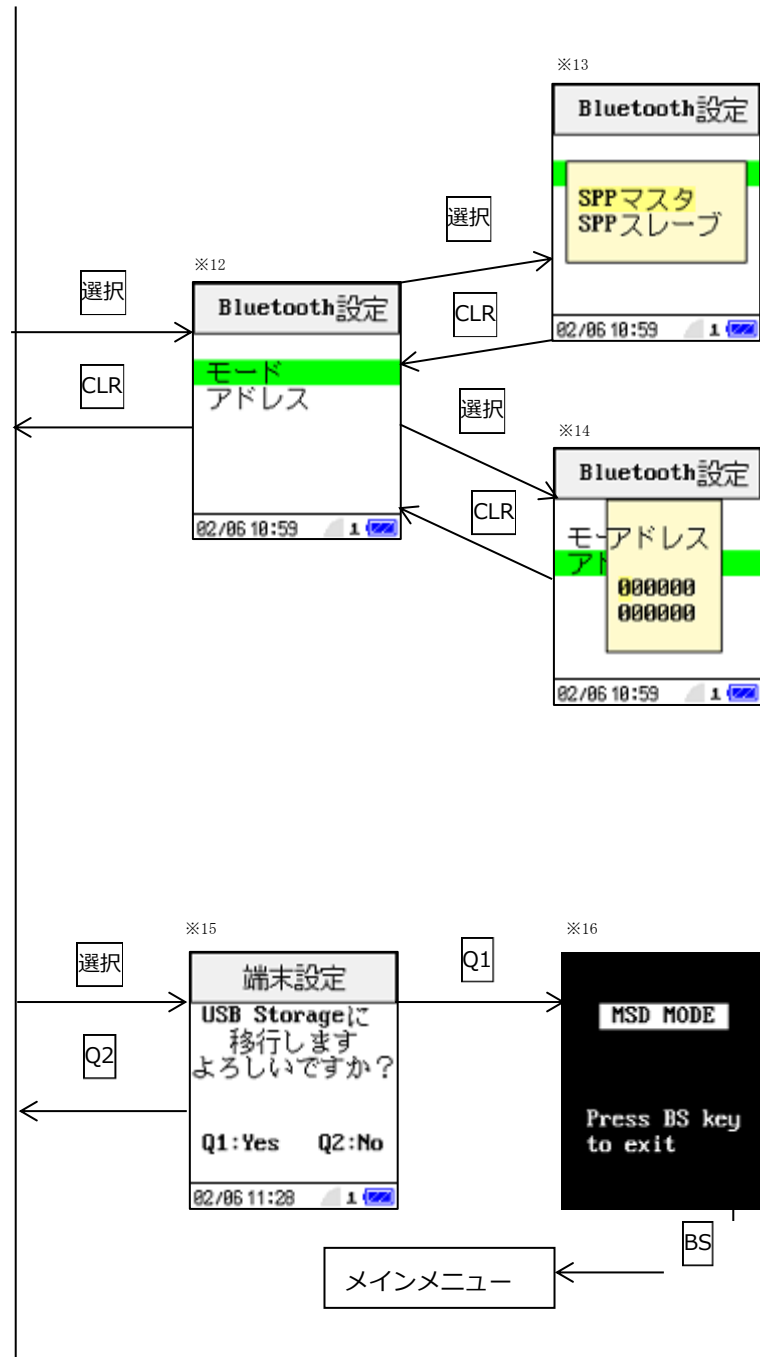
端末設定業務の処理を説明します。

メインメニューから F1 キーを押すと移行します。

2.12.1 端末設定業務画面遷移







2.12.2 端末設定業務画面操作説明

画 面	※ 1 端末設定メニュー画面 1
処理概要	設定する項目を選択します。
操作キー	数字キー：各業務のファイルを選択し、各設定画面に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：設定項目を選択し、各設定画面に移行します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※ 2 端末設定メニュー画面 2
処理概要	削除する業務ファイルを選択します。
操作キー	数字キー：各業務のファイルを選択し、各設定画面に移行します。 Q1 キー：カーソルが上に移動します。 Q2 キー：カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー：設定項目を選択し、各設定画面に移行します。 CLR キー：メインメニューに戻ります。

画 面	※ 3 端末 I D 設定画面
処理概要	端末 I D の設定を行います。 最大 4 桁とし、入力された値が 4 桁未満の場合は前ゼロ埋めします。
操作キー	数字キー：端末 ID の入力を行います。 ENT キー：端末 ID の確定を行います。 CLR キー：※ 1 に戻ります。

画 面	※ 4 ユーザ I D 設定画面
処理概要	ユーザ I D の設定を行います。 最大 8 桁とし、入力された値が 8 桁未満の場合は前ゼロ埋めします。
操作キー	数字キー：ユーザ ID の入力を行います。 ENT キー：ユーザ ID の確定を行います。 CLR キー：※ 1 に戻ります。

画 面	※ 5 ブザー音設定画面	
処理概要	ブザー音の設定を行います。	
項 目	ブザー音	ブザー音の有無を設定します。 Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：カーソル設定を確定し、各設定画面に移行します。 CLR キー：※ 1 に戻ります。

画 面	※ 6 バイブレーション設定画面	
処理概要	バイブレーションの設定を行います。	
項 目	バイブ	バイブレーションの有無を設定します。 Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：カーソル設定を確定し、各設定画面に移行します。 CLR キー：※ 1 に戻ります。

画 面	※ 7 ファイル保存形式設定画面	
処理概要	各業務ファイルの保存形式を設定します。 既にデータが作成されている場合は変更できません。 BUILD.INI のファイル形式が優先されます。	
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：通信方式を確定し、※ 1 に移行します。 CLR キー：※ 1 に戻ります。	

画 面	※ 8 通信方式設定画面	
処理概要	通信方式を Bluetooth または無線 LAN または USB の設定を行います。	
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：通信方式を確定し、※ 1 に移行します。 CLR キー：※ 1 に戻ります。	

画 面	※ 9 FTP 設定確認画面	
処理概要	FTP モードの設定と設定ファイルにて設定されている内容を表示します。	
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：設定・確認項目を確定し、※ 10 または※ 11 に移行します。	

	CLR キー：※ 2 に戻ります
--	------------------

画 面	※10 FTP モード設定確認画面
処理概要	FTP ACTIVE モード、FTP PASSIVE オードスレーブの設定/確認します。
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：設定・確認項目を確定し、※ 1 に移行します。 CLR キー：※1 に戻ります。

画 面	※11 FTP 設定確認画面
処理概要	設定ファイルにて設定されている内容を表示します。 設定内容の変更はできません。 送信先のホスト IP、PATH が表示されます
操作キー	CLR キー：※1 に戻ります。

画 面	※12 Bluetooth 設定確認画面
処理概要	Bluetooth モードと Bluetooth アドレスを設定/確認します。
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：設定・確認項目を確定し、※ 13 または※ 14 に移行します。 CLR キー：※1 に戻ります。

画 面	※13 Bluetooth SPP モード設定確認画面
処理概要	Bluetooth SPP マスタ、Bluetooth SPP スレーブの設定/確認します。
操作キー	Q1 キー：カーソルを上に移動します。 Q2 キー：カーソルを下に移動します。 ENT キー：設定・確認項目を確定し、※ 1 に移行します。 CLR キー：※1 に戻ります。

画 面	※14 Bluetooth アドレス設定確認画面
処理概要	Bluetooth アドレスの設定/確認します。
操作キー	テンキー：Bluetooth アドレスを入力します。 SCAN キー：バーコードを読み取る事で、Bluetooth アドレスを入力します。 ENT キー：設定・確認項目を確定し、※ 1 に移行します。 CLR キー：※1 に戻ります。

画 面	※15 USB 接続動作設定画面
処理概要	USB 接続された場合の設定を行います。

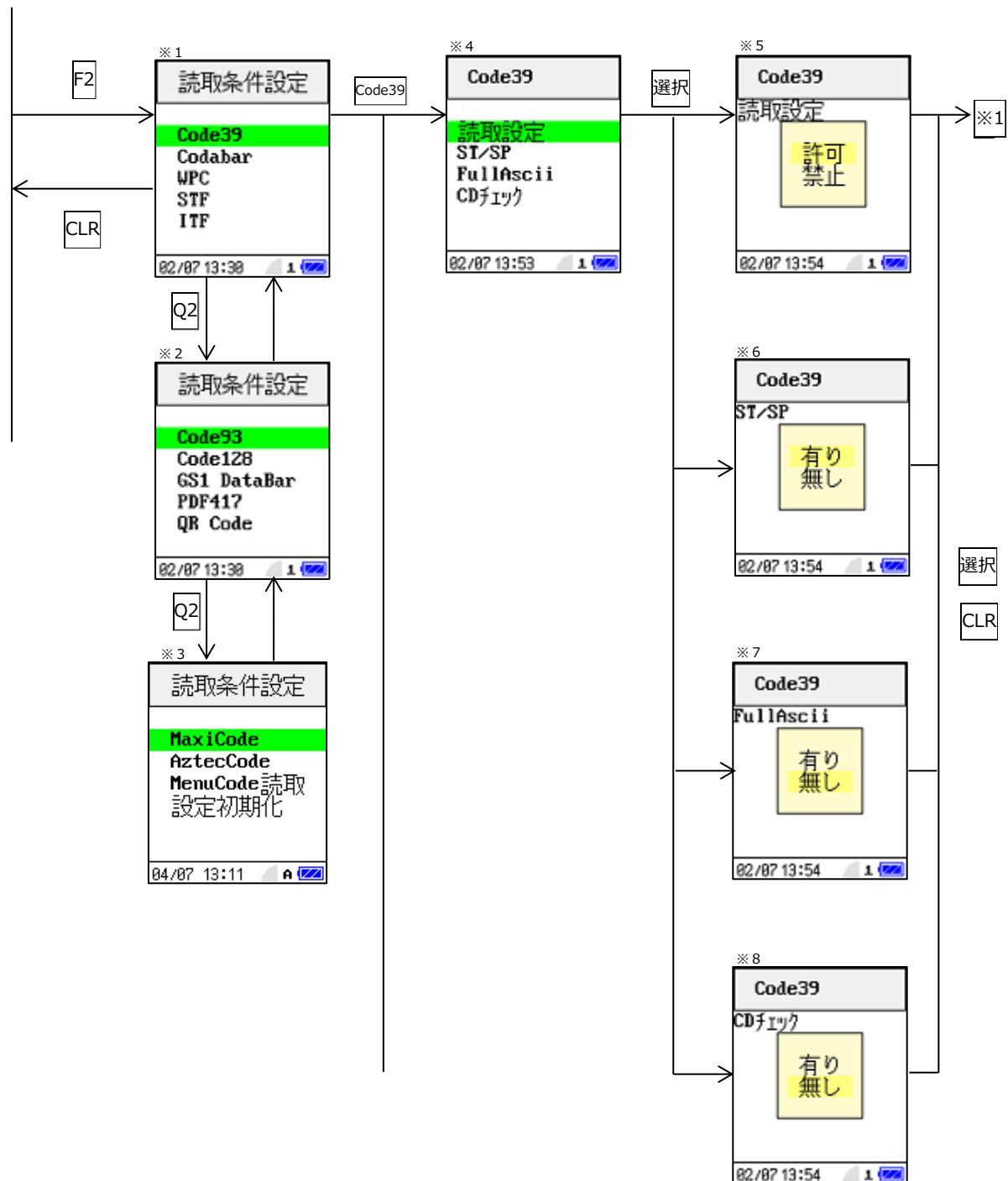
	USB ストレージとして認識させるか否かの設定をします。
操作キー	Q1 キー：※14 に移行します。 Q2 キー：※1 に戻ります。

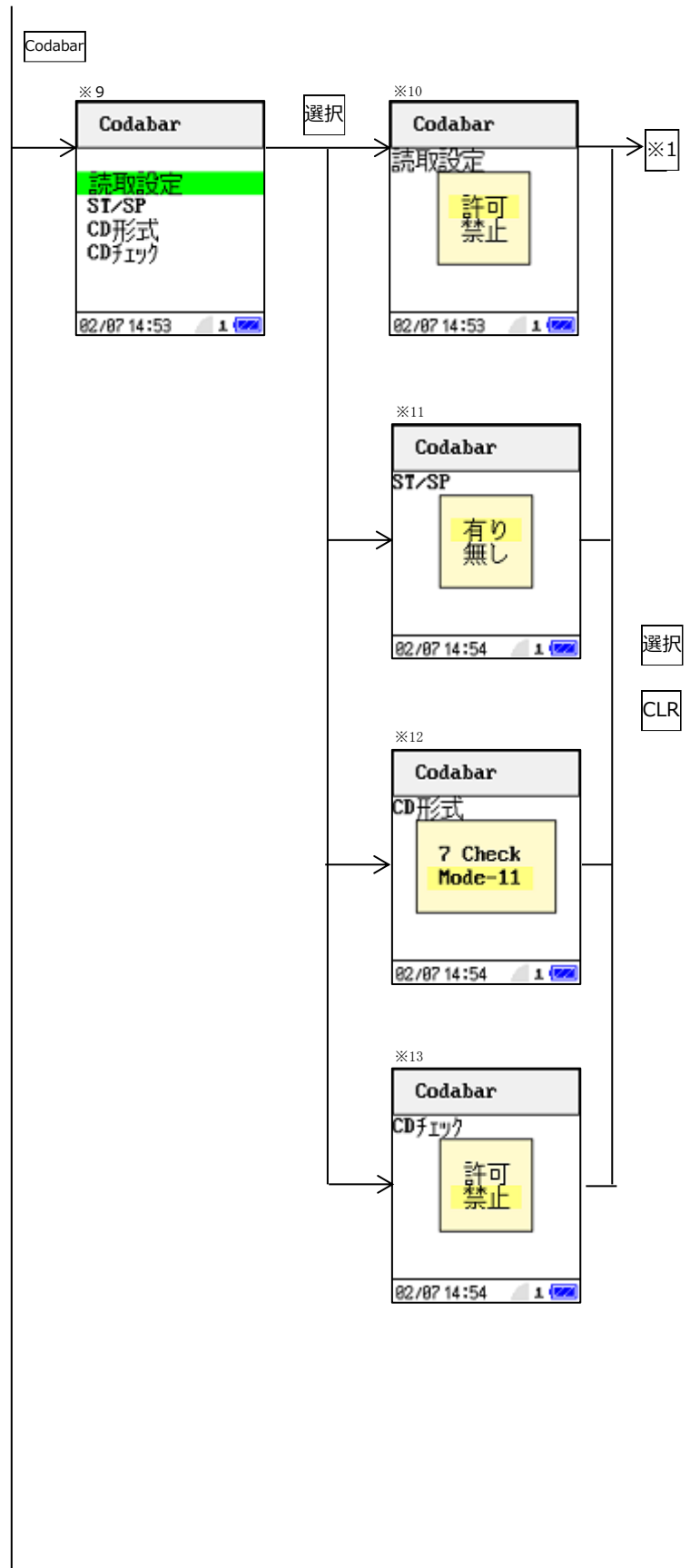
画 面	※16 USB マスストレージ画面
処理概要	USB マスストレージとして動作します
操作キー	BS キー：マスストレージモードを抜けて端末を再起動させます。

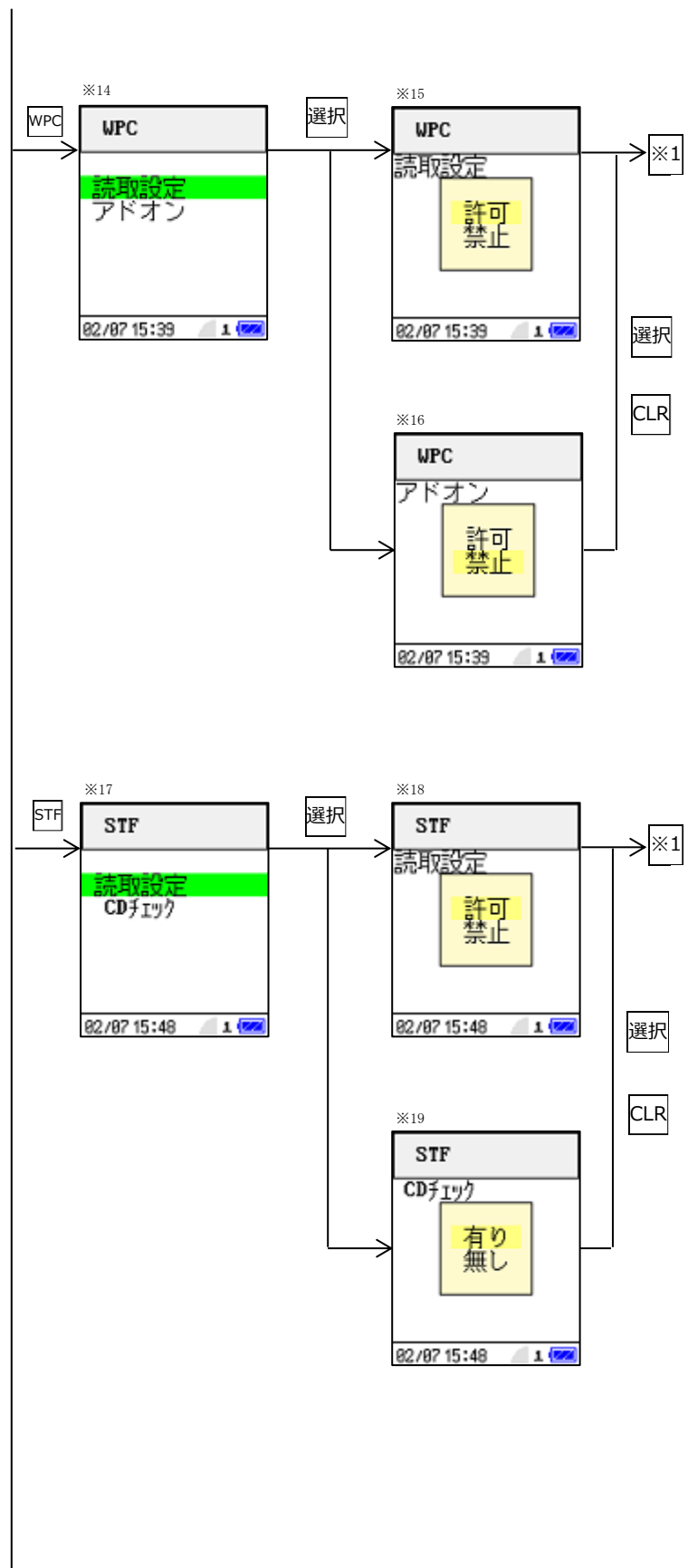
2.13 バーコード読み取り条件設定画面説明

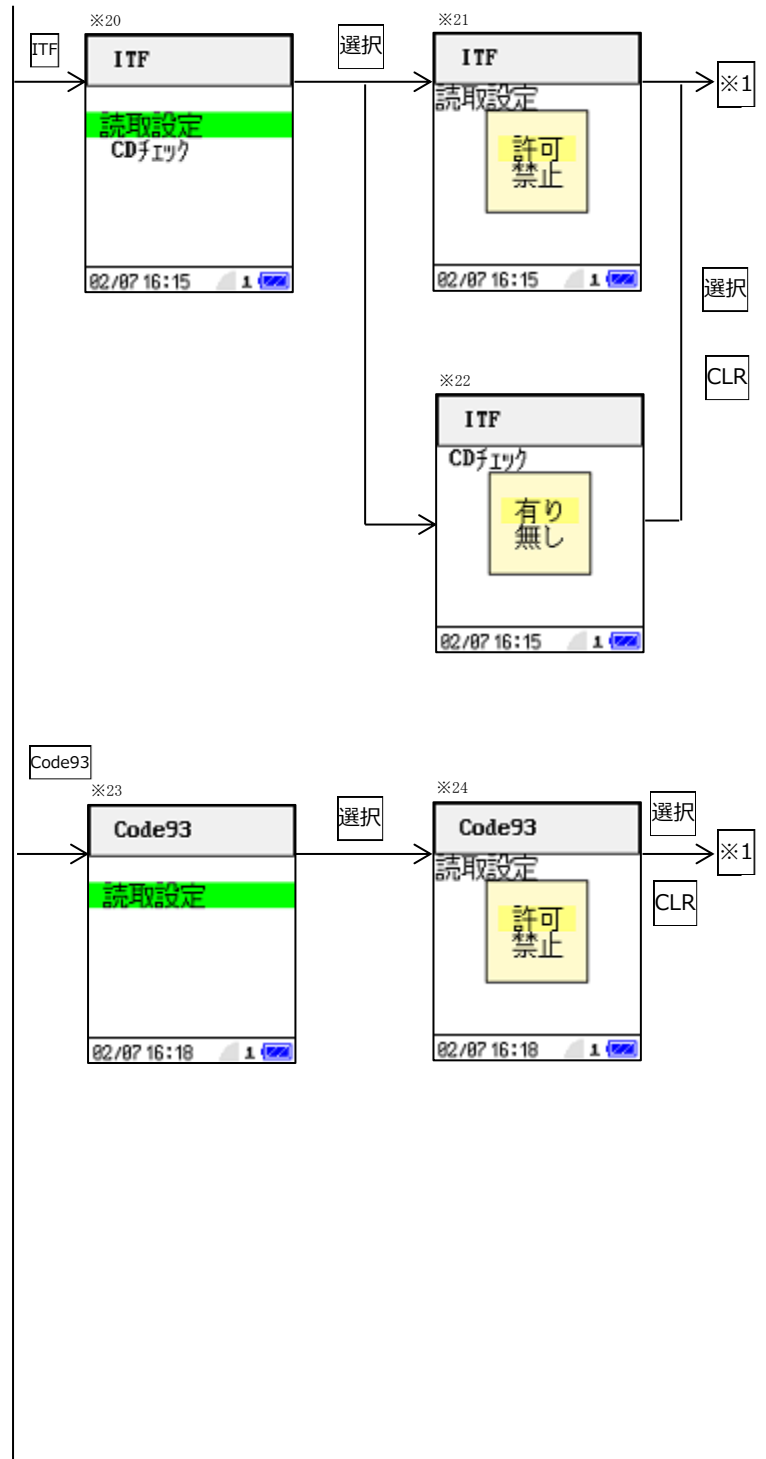
端末のバーコード読取条件設定の処理を説明します。
メインメニューから F2 キーを押すと移行します。

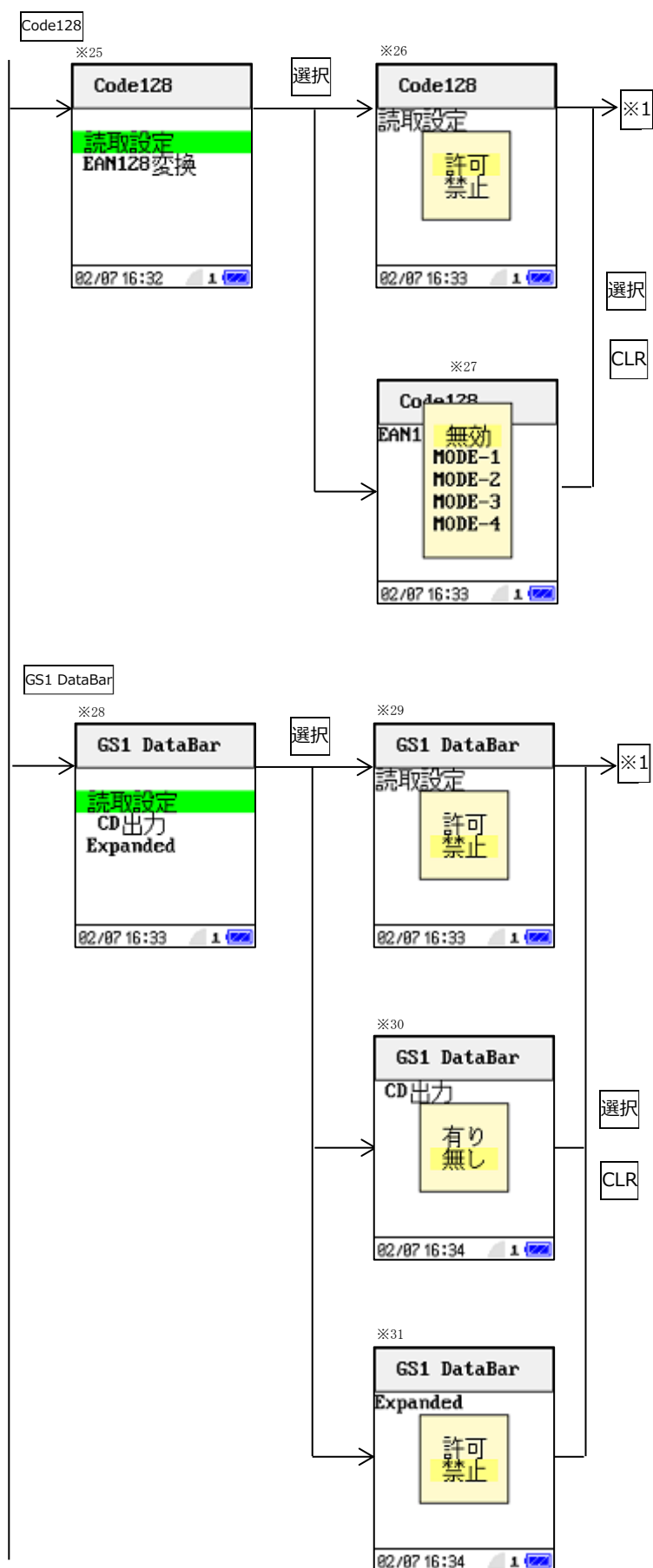
2.13.1 バーコード読み取り条件設定画面遷移

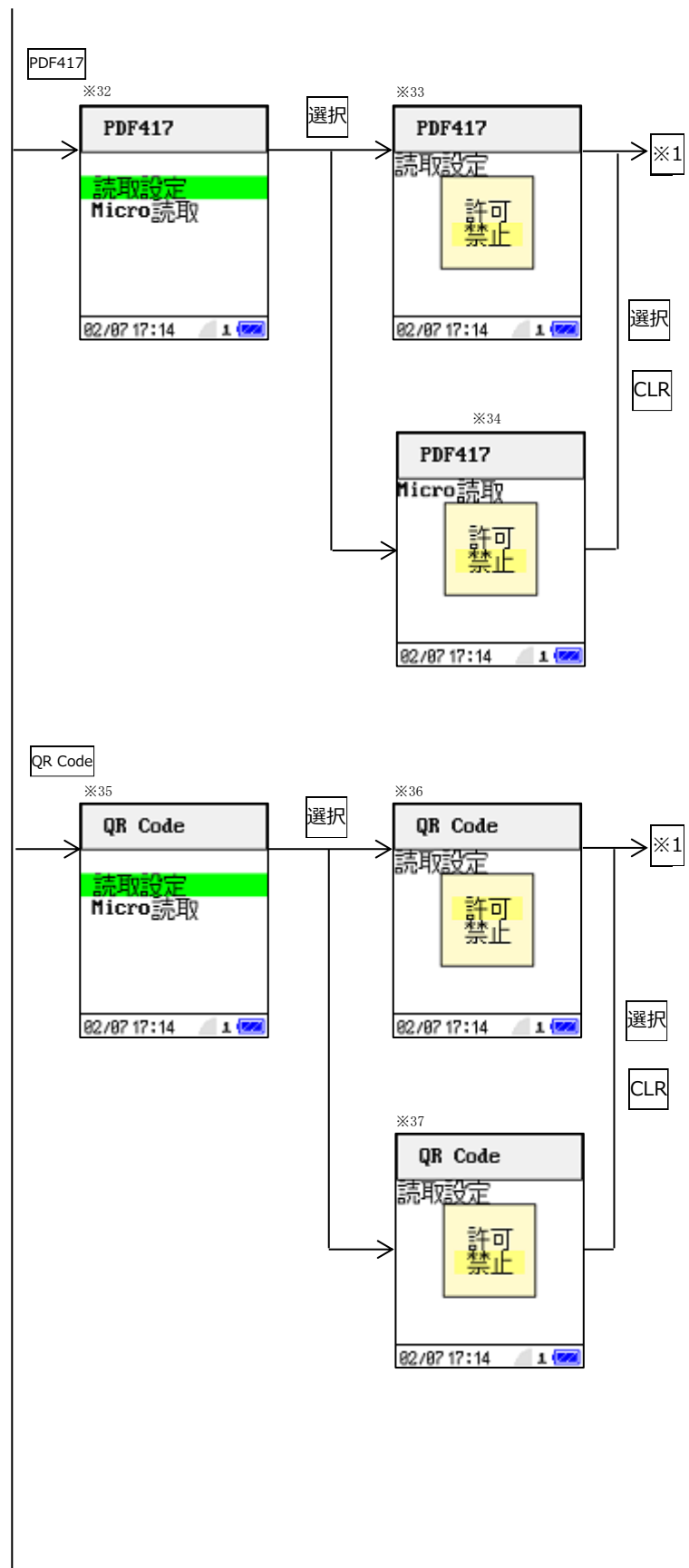


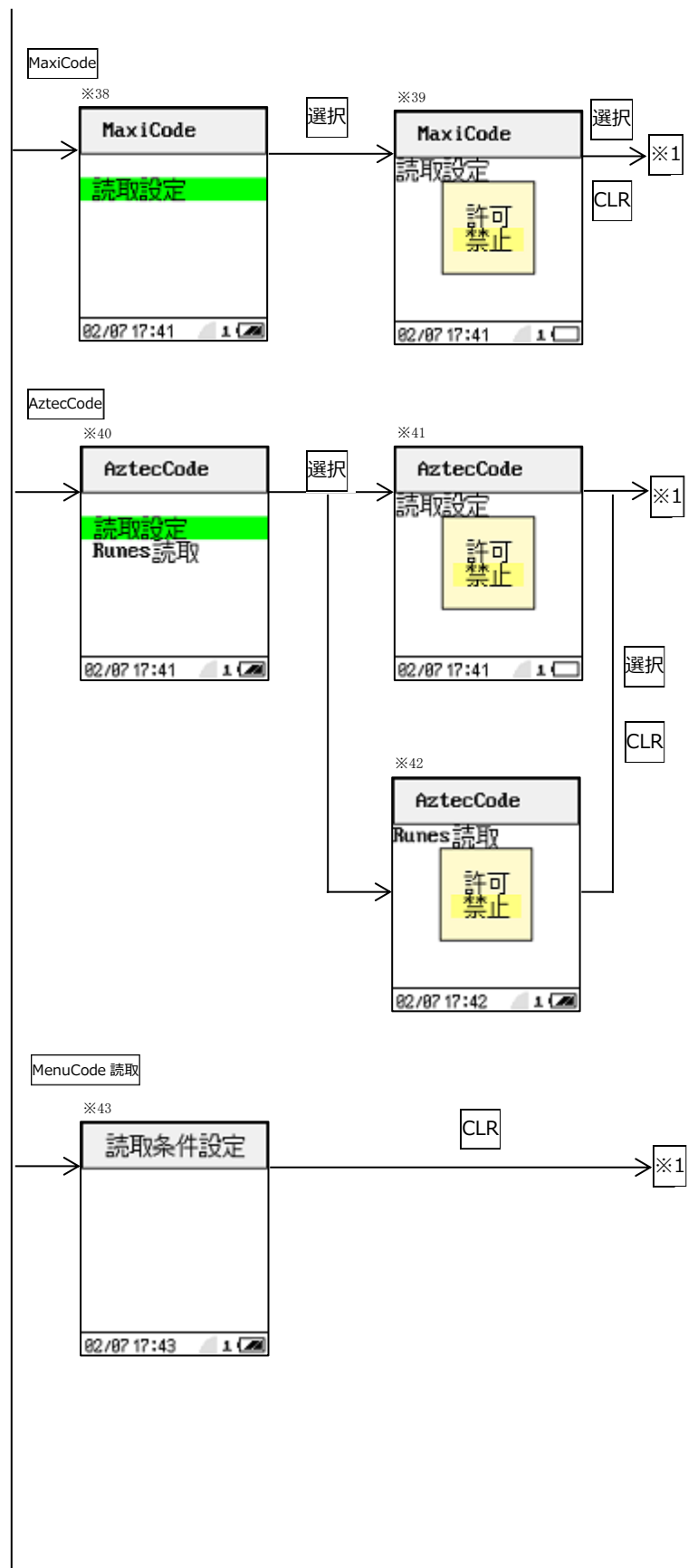












2.13.2 バーコード読み取り条件設定画面操作説明

画 面	※ 1 バーコード読取条件設定メニュー画面 1
処理概要	読取条件設定するコードを選択します。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー : 設定コードを選択し、各読取条件選択画面に移行します。 CLR キー : メインメニューに戻ります。

画 面	※ 2 バーコード読取条件設定メニュー画面 2
処理概要	読取条件設定するコードを選択します。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー : 設定コードを選択し、各読取条件選択画面に移行します。 CLR キー : メインメニューに戻ります。

画 面	※ 3 バーコード読取条件設定メニュー画面 3
処理概要	読取条件設定するコードを選択します。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT/SCAN キー : 設定コードを選択し、各読取条件選択画面に移行します。 CLR キー : メインメニューに戻ります。

画 面	※ 4 Code39 読取条件選択画面
処理概要	Code39 の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※ 5 Code39 読取設定画面
処理概要	Code39 の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※6 Code39 スタートキャラ/ストップキャラ転送設定画面
処理概要	Code39 のスタートキャラ/ストップキャラ転送(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※7 Code39 フルアスキーコードの読取設定画面
処理概要	Code39 のフルアスキーコードの読取(禁止/許可)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※8 Code39 CD チェック設定画面
処理概要	Code39 の CD チェック(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※9 CODABAR 読取条件選択画面
処理概要	CODABAR の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※10 CODABAR 読取設定画面
処理概要	CODABAR の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※11 CODABAR スタートキャラ/ストップキャラ転送設定画面
処理概要	CODABAR のスタートキャラ/ストップキャラ転送(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※12 CODABAR CD チェック形式指定画面
処理概要	CODABAR の CD チェック形式(7 Check/Mode-11)を指定します。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※13 CODABAR CD チェック設定画面
処理概要	CODABAR の CD チェック(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※14 WPC 読取条件選択画面
処理概要	WPC(UPC,EAN,JAN)の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※15 WPC 読取設定画面
処理概要	WPC(UPC,EAN,JAN)の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※16 WPC アドオン設定画面
処理概要	WPC(UPC,EAN,JAN)のアドオン(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※17 STF 読取条件選択画面
処理概要	STF の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※18 STF 読取設定画面
処理概要	STF の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※19 STF CD チェック設定画面
処理概要	STF の CD チェック(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※20 ITF 読取条件選択画面
処理概要	ITF の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※21 ITF 読取設定画面
処理概要	ITF の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※22 ITF CD チェック設定画面
処理概要	ITF の CD チェック(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※23 Code93 読取条件選択画面
処理概要	Code93 の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※24 Code93 読取設定画面
処理概要	Code93 の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※25 Code128 読取条件選択画面
処理概要	Code128 の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※26 Code128 読取設定画面
処理概要	Code128 の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※27 Code128 EAN128 変換設定画面
処理概要	EAN-128(読取禁止/変換モード 1/変換モード 2/変換モード 3/変換モード 4)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※28 GS1 DataBar 読取条件選択画面
処理概要	GS1 DataBar の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※29 GS1 DataBar 読取設定画面
処理概要	GS1 DataBar の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※30 GS1 CD チェック設定画面
処理概要	GS1 DataBar の CD チェック(有/無)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※31 GS1 DataBar Expanded 読取設定画面
処理概要	GS1 DataBar の Expanded 読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※32 PDF417 読取条件選択画面
処理概要	PDF417 の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※33 PDF417 読取条件設定画面
処理概要	PDF417 の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※34 PDF417 Micro 読取条件設定画面
処理概要	PDF417 の Micro 読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※35 QRCode 読取条件選択画面
処理概要	QRCode の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※36 QRCode 読取条件設定画面
処理概要	QRCode の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※37 QRCode Micro 読取条件設定画面
処理概要	QRCode の Micro 読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※38 MaxiCode 読取条件設定画面
処理概要	MaxiCode の読取条件項目の設定を行います。
操作キー	ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※39 MaxiCode 読取条件設定画面
処理概要	MaxiCode の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※40 AztecCode 読取条件選択画面
処理概要	AztecCode の読取条件項目の選択を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※41 AztecCode 読取条件設定画面
処理概要	AztecCode の読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※42 AztecCode Runes 読取条件設定画面
処理概要	AztecCode の Runes 読取(許可/禁止)設定を行います。
操作キー	Q1 キー : カーソルが上に移動します。 Q2 キー : カーソルが下に移動します。 ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※43 MenuCode 読取画面
処理概要	MenuCode による読取条件設定を行います。 設定初期化で初期化をおこなうことで、この設定は削除されます。 ※MenuCode 読取は他の読み取り条件設定の後に適用されます。MenuCode 読取設定により U2 初期化設定等のメニューコードを設定すると他の読み取り条件設定は無効化されます。
操作キー	ENT キー : 設定項目を変更します。 CLR キー : ※ 1 に戻ります。

画 面	※44 設定初期化画面
処理概要	MenuCode 読取設定を含むすべての読取条件設定を初期化します。
操作キー	CLR キー : ※ 1 に戻ります。 Q1 キー : (Yes) すべての読取条件設定を初期化し、端末を再起動します。 Q2 キー : (No) ※ 1 に戻ります。

2.14 使用キー概要説明

キーの種類	説 明
P W	電源の O N / O F F に使用します
数字キー	各メニューの移行、項目の入力時に使用します
ドットキー	マイナス・小数点入力に使用します
S C A N	バーコードのスキャニングに使用します
E N T	項目の確定に使用します
Q 1	メニュー項目の選択、送信／受信実行時等に使用します
Q 2	メニュー項目の選択、作業の取止め時等に使用します
C L R	項目のクリアや作業の中止、メニュー移行等に使用します
B S	項目のバックスペースに使用します
F 1	照合モードの切り替え等に使用します
F 3	参照モードへの切り替えに使用します

2.15 ファイルレイアウト

【送信ファイルレイアウト】

- ・入荷業務ファイル

ファイル名 : DAT1.CSV

商品コード	,	バーコード種別	,	数量	,	入力日付	,	入力時刻	CR	LF
X(13)	,	X(12)	,	9(4)	,	YYYY/MM/DD	,	HH:MM:SS	CR	LF

1 レコード目はタイトルレコードとし、実データは2 レコード以降となります

- ・出荷業務ファイル

ファイル名 : DAT2.CSV

取引先コード	,	バーコード種別	,	商品コード	,	バーコード種別	,	数量	,	入力日付	,	入力時刻	CR	LF
X(8)	,	X(12)	,	X(13)	,	X(12)	,	9(4)	,	YYYY/MM/DD	,	HH:MM:SS	CR	LF

1 レコード目はタイトルレコードとし、実データは2 レコード以降となります

- ・棚卸業務ファイル

ファイル名 : DAT3.CSV

棚番コード	,	バーコード種別	,	商品コード	,	バーコード種別	,	数量	,	入力日付	,	入力時刻	CR	LF
X(9)	,	X(12)	,	X(13)	,	X(12)	,	9(4)	,	YYYY/MM/DD	,	HH:MM:SS	CR	LF

1 レコード目はタイトルレコードとし、実データは2 レコード以降となります

- ・照合業務ファイル

ファイル名 : DAT4.CSV

マスタ バーコード	,	バーコード 種別	,	スレーブ バーコード	,	バーコード 種別	,	結果	,	入力日付	,	入力時刻	CR	LF
X(250)	,	X(12)	,	X(250)	,	X(12)	,	X(2)	,	YYYY/MM/DD	,	HH:MM:SS	CR	LF

1 レコード目はタイトルレコードとし、実データは2 レコード以降となります

結果 : “OK” / “NG”

3 設定ファイル仕様

設定ファイルにて変更できる項目と記述方法となります。

「BUILD.INI」の内容を変更することにより簡単にアプリケーションの内容が変更できます。

起動時、ストレージ上に「BUILD.INI」が存在しない場合、自動生成します。

- ・エラー出力

BUILD.INI の冒頭に下記の文字列を書き加えると、エラーを出力するモードで起動します。

[ERROR]

\$TERM\$

エラー発生時、エラー画面を表示し、ENT キーで USBMSD モードに移行します。

エラー発生時、ERR_LOG.TXT にエラーログを出力します。

例：

```
[VERSION]
TH16J08
$TERM$
[ERROR]
$TERM$
```

- ・コメント

「BUILD.INI」設定ファイルのコメントを記入できます。

行の先頭に#がある場合のみコメント行となります。

例：

```
#コメントです。
```

- ・コードチェッカーオプション

BUILD.INI に下記を書き加えることで、コードチェッカーの制御文字を赤色で表示することが出来ます。

[CHECKER]

1

\$TERM\$

例：

```
[CHECKER]
1
$TERM$
```

3.1 タイトル設定項目

各業務のタイトルを設定できます。

タイトル設定項目フォーマット

業務番号	タイトル文字列
------	---------

業務番号 : %0~%9まで

タイトル文字列 : タイトル文字列[最大16文字(全角8文字)]

初期タイトル設定項目

[TITLE] %0,メインメニュー %1,入荷 %2,出荷 %3,棚卸 %4,照合 %5,コードチェック %6,ファイル送受信 %7,ファイル削除 %8,FTP送信 %9,FTP受信 \$TERM\$
--

3.1.1 タイトル設定変更画面例

メインメニュータイトル変更例

[TITLE]		[TITLE]
%0,メインメニュー	➡	%0,業務メニュー
%1,入荷		%1,入庫
%2,出荷		%2,出荷

メインメニュー

1:入荷業務

2:出荷業務

3:棚卸業務

4:照合業務

MM/DD HH:MM A 



業務メニュー

1:入庫業務

2:出荷業務

3:棚卸業務

4:照合業務

MM/DD HH:MM A 

入荷業務タイトル変更例

入荷

商品コード

XXXXXXXXXXXXXX

数量

9999

MM/DD HH:MM A 



入庫

商品コード

XXXXXXXXXXXXXX

数量

9999

MM/DD HH:MM A 

3.2 メニュー設定項目

メニューで表示する内容を設定します。

メニュー設定項目フォーマット

業務番号	機能	業務名称	確認画面	ファイル番号
------	----	------	------	--------

業務番号 : %0~%9 まで

機能 : 01=収集 02=照合 10=バーコード入力
50=ファイル削除 60=ファイル送受信 61=FTP 送信 62=FTP 受信 99=終了
※20=ファイル送信と 30=ファイル受信は 60=ファイル送受信に統合されました。

業務名称 : タイトル文字列[最大16文字(全角8文字)]

確認画面 : 確認画面を表示するかの有無 0=無効 1=有効

ファイル番号 : 01~99=番号 00=なし

初期メニュー設定項目

```
[MENU]
%1,01,1:入荷業務,0,1
%2,01,2:出荷業務,0,2
%3,01,3:棚卸業務,0,3
%4,02,4:照合業務,0,4
%5,10,5:コード入力,0,0
%6,60, 6:ファイル送受信,0,0
%7,50, 7:ファイル削除,0,0
%8,61,8:FTP 送信,0,0
%9,62,9:FTP 受信,0,0$TERM$
```

3.2.1 メニュー設定変更画面例

メインメニュータイトル変更例

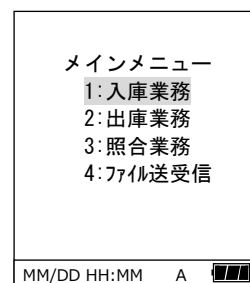
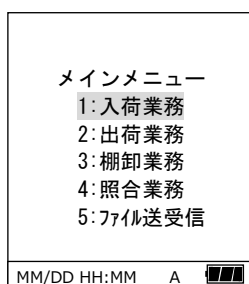
[MENU]

%1,01,1:入荷業務,1,0,1
%2,01,2:出荷業務,1,0,2
%3,01,3:棚卸業務,1,0,3
%4,02,4:照合業務,1,0,4
%5,60,5:ファイル送受信,1,00



[MENU]

%1,01,1:入庫業務,1,0,1
%2,01,2:出庫業務,1,0,2
%3,02,3:照合業務,1,0,3
%4,60,4:ファイル送受信,1,0,0



3.3 業務設定項目

メニューで設定した各業務の項目を設定します。

業務設定項目フォーマット

業務番号	項目番号	表示ページ	表示 X 座標	表示 Y 座標	項目名称
入力ページ	入力 X 座標	入力 Y 座標	入力桁数	入力形式	入力種別
移行先	マスタ参照	結果 X 座標	結果 Y 座標	結果表示後動作	不一致時動作

改行後のオプション（項目ごとに独立に指定）

前回入力データ 表示	マスタ参照デー タ表示	固定値表示	空欄入力許可
---------------	----------------	-------	--------

業務番号	: %1~%9 まで
項目番号	: 0=表示のみの項目番号 1~9=項目番号
表示ページ	: 0~2=ページ
表示 X 座標	: 0~16=X 座標
表示 Y 座標	: 0~5=Y 座標
項目名称	: 項目名文字列[最大 16 文字（全角 8 文字）]
入力ページ	: 0~2=ページ
入力 X 座標	: 0~16=X 座標
入力 Y 座標	: 0~5=Y 座標
入力桁数	: 1~250=桁数 0=なし
入力形式	: 0=テンキーのみ 1=テンキー／スキャナ 2=スキャナのみ
入力種別	: 0=文字／数字 1=文字のみ 2=数字のみ
移行先	: 入力後の移行先項目 0=次項目 1~9=移行先項目番号 次項目が表示のみの項目番号の場合、0 は使用不可
マスタ参照	: 0=マスタ参照しない 1~6=参照マスタ・ファイル番号
結果表示 X 座標	: 0~15=X 座標
結果表示 Y 座標	: 0~8=Y 座標
結果表示後動作	: 0=ENT キー待ち、1~9=表示時間(秒)
不一致時動作	: 0=次項目へ移行、1=再入力待ち
前回入力データ 表示	: 前回、入力されたデータを表示します。 +ODISP, X 座標 (0~16),Y 座標 (0~8) 例: +ODISP,0,8 ※前回入力データ表示はオプションです。必須の項目ではありません。
マスタ参照デー タ表示	: マスタからの参照データを表示します。 +DISP,抽出開始位置(1~120 桁),抽出データ長さ(1~120 桁),X 座標(0~15),Y 座標

(0~8)

例：+DISP,14,26,0,3（+DISP 設定数 5 まで）

※マスタ参照項目表示はオプションです。必須の項目ではありません。

固定値表示 ：固定値を表示します。

71,表示ページ (0~2),X 座標 (0~16),Y 座標(0~8)、

例：71,0,0,5,商品名

※固定値表示はオプションです。必須の項目ではありません。

空欄入力許可 ：ENT キーを押すと、入力文字が無くても次の入力アイテムへ移行します。

例：+ENTER

前回入力データ表示の例

```
[ITEM]
%1
1,0,0,2,商品コード,0,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0
+ODISP,0,8
$TERM$
```

マスタ参照データ表示の例

```
[ITEM]
%1
1,0,0,2,商品コード,0,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0
+DISP,14,26,0,3
$TERM$
```

固定値表示の例

```
[ITEM]
%1
1,0,0,2,商品コード,0,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0
2,0,0,4,数量,0,0,5,4,0,2,1,0,0,0,0,0
71,0,0,5,誤入力注意
$TERM$
```

空欄入力許可の例

```
[ITEM]
%1
1,0,0,2,商品コード,0,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0
2,0,0,4,数量,0,0,5,4,0,2,1,0,0,0,0,0
+ENTER
$TERM$
```

初期業務設定項目

[ITEM]

%1

1,0,0,2,商品コード,0,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0,0

2,0,0,4,数量,0,0,5,4,0,2,1,0,0,0,0,0

\$TERM\$

[ITEM]

%2

0,1,0,1,取:,1,3,1,9,0,0,1,0,0,0,0,0

1,0,0,3,取引先コード,0,0,4,8,1,0,0,0,0,0,0,0

2,1,0,2,商品コード,1,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0,0

3,1,0,4,数量,1,0,5,4,0,2,2,0,0,0,0,0

\$TERM\$

[ITEM]

%3

0,1,0,1,棚,1,3,1,9,0,0,1,0,0,0,0,0

1,0,0,3,棚番,0,0,4,9,1,0,0,0,0,0,0,0

2,1,0,2,商品コード,1,0,3,13,1,0,0,0,0,0,0,0

3,1,0,4,数量,1,0,5,4,0,2,2,0,0,0,0,0

\$TERM\$

[ITEM]

%4

1,0,0,2,コード1,0,0,3,250,2,0,0,0,0,0,0,0

2,0,0,4,コード2,0,0,5,250,2,0,0,0,0,0,0,0

\$TERM\$

[ITEM]

%5

\$TERM\$

[ITEM]

%6

\$TERM\$

[ITEM]

%7

\$TERM\$

[ITEM]

%8

\$TERM\$

3.3.1 業務設定項目変更画面例

入荷業務設定項目変更例

[ITEM]		[ITEM]
%1 <<< メニュー番号 1		%1 <<< メニュー番号 1
1,0,0,1,商品コード,0,0,2,14,1,0,0	→	1,0,0,1,バーコード,0,0,2,14,1,0,0
2,0,0,3,数量,0,0,4,4,0,2,1		2,0,0,3,数量,0,5,3,5,0,2,1
\$TERM\$		\$TERM\$

入荷
商品コード
XXXXXXXXXXXXXXXX
数量
9999

MM/DD HH:MM A



入荷
バーコード
XXXXXXXXXXXXXXXX
数量 99999

MM/DD HH:MM A

3.4 ファイル設定項目

ファイルに関する設定を行います。

ファイル設定項目フォーマット

ファイル番号	ファイル名	ID 区分	ファイル形式
タイトル有無	ファイル名形式		

改行

ファイル削除

ファイル番号 : 01~99=ファイル番号

ファイル名 : 8.3 形式でファイル名を設定

ID 区分 : 0=端末 ID を付加しない 1=端末 ID を付加する

ファイル形式 : 0=CSV 形式 1=TSV 形式

タイトル有無 : 0=タイトルレコード無し 1=タイトルレコード有り

ファイル名形式 : 0=ファイル名 1=ファイル名+日時*² (無線 LAN 専用)

*2: 例: DAT4.CSV の場合、DAT4_YYYYMMDDHHMMSS.CSV

ファイル削除 : FTP 送信成功した後にそのファイルを削除する

※ファイル名形式の改行後にファイル削除項目となります。

+DEL,NUM (NUM 0:しない, 1:消去,)

※ファイル削除はオプションです。記述は必須ではありません。

ファイル削除記述例

```
[FILE]
01,DAT1.CSV,0,0,0,0
+DEL,1
$TERM$
```

初期ファイル設定項目

```
[FILE]
01,DAT1.CSV,0,0,0,0
02,DAT2.CSV,0,0,0,0
03,DAT3.CSV,0,0,0,0
04,DAT4.CSV,0,0,0,0
$TERM$
```

3.5 照合設定項目

照合に関する動作を設定します。

照合設定項目フォーマット

照合区分	照合開始位置(1)	照合開始位置(2)	照合開始位置(3)	照合桁数
------	-----------	-----------	-----------	------

照合区分 : 0=コードのみ 1=コード/コード種別 2=コード種別のみ

照合開始位置(1) : 0=コードすべて 1~250 桁目

照合開始位置(2) : 0=コードすべて 1~250 桁目

照合開始位置(3) : 0=コードすべて 1~250 桁目

照合桁数 : 0=コードすべて 1~250 桁

※ 照合開始位置指定が0でない場合、照合桁数は1~250桁を指定してください。

初期照合設定項目

[MATCHING]

0,0,0,0,0

\$TERM\$

3.6 マスタ・ファイル設定項目

マスタ・ファイルに関する設定を行います。

マスタ・ファイル設定項目フォーマット

マスタ番号	ファイル名	1レコード長	検索開始位置
検索キー長	抽出開始位置	抽出データ長	検索方法

マスタ番号 : 1~6=マスタ番号(※マスタ番号と行数を一致させてください)

ファイル名 : 8.3 形式でファイル名を設定

1レコード長 : 1~120 桁

検索開始位置 : 0~120 桁目

検索キー長 : 1~120 桁

抽出開始位置 : 1~120 桁目

抽出データ長 : 1~120 桁

検索方法 : 0=シーケンシャル・サーチ 1=バイナリ・サーチ^{*1}

^{*1}: 検索データは昇順であることが動作条件です

初期照合設定項目

[MASTER]

1,,0,0,0,0,0,0

\$TERM\$

3.7 設定ファイルエラーコード

エラー番号	エラー内容
-1	タイトルセクション業務番号エラー
-2	タイトル文字列セクションエラー
-3	メニューセクション業務番号エラー
-4	メニューセクション機能番号エラー
-5	メニューセクションメニュー名称エラー
-6	メニューセクション番号移行設定エラー
-7	メニューセクションファイル番号設定エラー
-8	アイテムセクション設定数エラー
-9	アイテムセクション業務番号エラー
-10	アイテムセクション項目番号設定エラー
-11	アイテムセクション表示ページ設定エラー
-12	アイテムセクション表示 X 座標設定エラー
-13	アイテムセクション表示 Y 座標設定エラー
-14	アイテムセクション項目名設定エラー
-15	アイテムセクション入力ページ設定エラー
-16	アイテムセクション入力 X 座標設定エラー
-17	アイテムセクション入力 Y 座標設定エラー
-18	アイテムセクション入力桁数設定エラー
-19	アイテムセクション入力形式設定エラー
-20	アイテムセクション入力種別設定エラー
-21	アイテムセクションジャンプ項目設定エラー
-22	アイテムセクションマスタ参照設定エラー
-23	アイテムセクション結果表示 X 座標設定エラー
-24	アイテムセクション結果表示 Y 座標設定エラー
-25	アイテムセクション結果表示後動作設定エラー
-26	アイテムセクション不一致時動作設定エラー
-27	ファイルセクションファイル番号設定エラー
-28	ファイルセクションファイル名設定エラー
-29	ファイルセクション ID 付加設定エラー
-30	ファイルセクションファイル形式設定エラー
-31	ファイルセクションタイトルレコード設定エラー
-32	ファイルセクションファイル名形式設定エラー
-33	照合セクション照合区分設定エラー

-34	照合セクション照合開始位置設定 1 エラー
-35	照合セクション照合開始位置設定 2 エラー
-36	照合セクション照合開始位置設定 3 エラー
-37	照合セクション照合桁数設定エラー
-38	マスタファイルセクションマスタ番号設定エラー
-39	マスタファイルセクションファイル名設定エラー
-40	マスタファイルセクション 1 レコード長設定エラー
-41	マスタファイルセクション検索開始位置設定エラー
-42	マスタファイルセクション検索キー長設定エラー
-43	マスタファイルセクション抽出開始位置設定エラー
-44	マスタファイルセクション抽出データ長設定エラー
-45	マスタファイルセクション検索方法設定エラー
-46	+DISP マスタ参照セクション抽出開始位置設定エラー
-47	+DISP マスタ参照セクション抽出データ長設定エラー
-48	+DISP マスタ参照セクション結果表示 X 座標設定エラー
-49	+DISP マスタ参照セクション結果表示 Y 座標設定エラー
-50	アイテム+DISP 設定数
-51	71 固定表示セクション表示ページ設定エラー
-52	71 固定表示セクション表示 X 座標設定エラー
-53	71 固定表示セクション表示 Y 座標設定エラー
-54	71 固定表示セクション表示項目名設定エラー
-55	アイテム 71 固定表示設定数
-56	+ODISP 前回入力データ再表示 X 座標設定エラー
-57	+ODISP 前回入力データ再表示 Y 座標設定エラー

3.8 Bluetooth 通信設定項目

Bluetooth 通信に関する項目を設定します。

「BT.INI」の内容を変更することにより読取条件が変更できます。

起動時、ストレージ上に「BT.INI」が存在しない場合、自動生成されます。

通信設定項目フォーマット

BTMODE : Bluetooth モード設定 0=マスター 1=スレーブ

BDADDR : Bluetooth 接続先 BD アドレス 12 桁までの数字、英字(A~F)(区切文字無し)

BDPIN : Bluetooth 接続 PIN コード 4 桁以上の数字

初期通信設定項目

```
BTMODE=0
BDADDR=000000000000
BDPIN=0000
```

3.9 FTP 通信設定項目

無線 LAN（FTP パッシブモード）通信に関する項目を設定します

「Wlan.ini」の内容を変更することにより読取条件が変更できます

通信設定項目フォーマット

HOST : 無線 LAN FTP サーバ HOST 名 英数字(一部記号)または IP アドレス 最大半角 31 文字
SAVLOGIN : 無線 LAN FTP サーバログイン ID 英数字（一部記号）最大半角 31 文字
SAVPASS : 無線 LAN FTP サーバログインパスワード 英数字（一部記号）最大半角 31 文字
PATH : 無線 LAN FTP サーバ送信先 PATH FTP サーバ内のフォルダ名最大半角 31 文字

初期通信設定項目

```
HOST=OPTO.TESTSV  
SAVLOGIN=FTPTESTSV  
SAVPASS=ftptestsv  
PATH=tmp
```

3.10 バーコード読み取り条件設定項目

バーコード読取条件に関する項目を設定します。

「BARCODE.INI」の内容を変更することにより読取条件が変更できます。

起動時、ストレージ上に「BARCODE.INI」が存在しない場合、自動生成されます。

※読み取り条件設定の設定初期化で初期化をおこなうことで、「BARCODE.INI」は削除されます。

※MenuCode 読取設定は「BARCODE.INI」の設定の後に適用されます。MenuCode 読取設定により U2 初期化設定等のメニューコードを設定すると「BARCODE.INI」の設定は無効化されます。

Code39 読取条件設定 読取設定,ST/SP 転送設定,フルAST-読取設定,CD チェック設定

読取設定	0=読取禁止 1=読取許可
ST/SP 転送設定	0=転送しない 1=転送する
フルAST-読取設定	0=禁止 1=許可
CD チェック設定	0=チェック無し 1=チェック有り

C39READ=1,1,0,0

NW-7 読取条件設定 読取設定,ST/SP 転送設定,CD 方式設定,CD チェック設定

読取設定	0=読取禁止 1=読取許可
ST/SP 転送設定	0=転送しない 1=転送する
CD 方式	0=7 チェック 1=MOD-16
CD チェック設定	0=チェック無し 1=チェック有り

NW7READ=1,1,0,0

WPC 読取条件設定 読取設定,アドオン読取設定

読取設定	0=読取禁止 1=読取許可
アドオン読取	0=読取禁止 1=読取許可

WPCREAD=1,0

STF 読取条件設定 読取設定,CD チェック設定

読取設定	0=読取禁止 1=読取許可
CD チェック設定	0=チェック無し 1=チェック有り

STFREAD=1,1

ITF 読取条件設定 読取設定,CD チェック設定

読取設定	0=読取禁止 1=読取許可
CD チェック設定	0=チェック無し 1=チェック有り

ITFREAD=1,1

Code93 読取条件設定 読取設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

C93READ=1

Code128 読取条件設定 読取設定,CD チェック設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

EAN128 変換 0=変換無し 1=変換E-T` 1 2=変換E-T` 2 3=変換E-T` 3 4=変換E-T` 4

C128READ=1,0

GS1 DataBar 読取条件設定 読取設定,CD 出力設定,Expanded 読取設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

CD 出力設定 0=CD 転送無し 1=CD 転送有り

Expanded 読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

GS1READ=0,0,0

PDF417 読取条件設定 読取設定,Micro 読取設定,データ列数転送設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

Micro 読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

PDFREAD=0,0

QRCode 読取条件設定 読取設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

Micro 読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

QRREAD=1,0

MaxiCode 読取条件設定 読取設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

MAXIREAD=0

AztecCode 読取条件設定 読取設定

読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

Runes 読取設定 0=読取禁止 1=読取許可

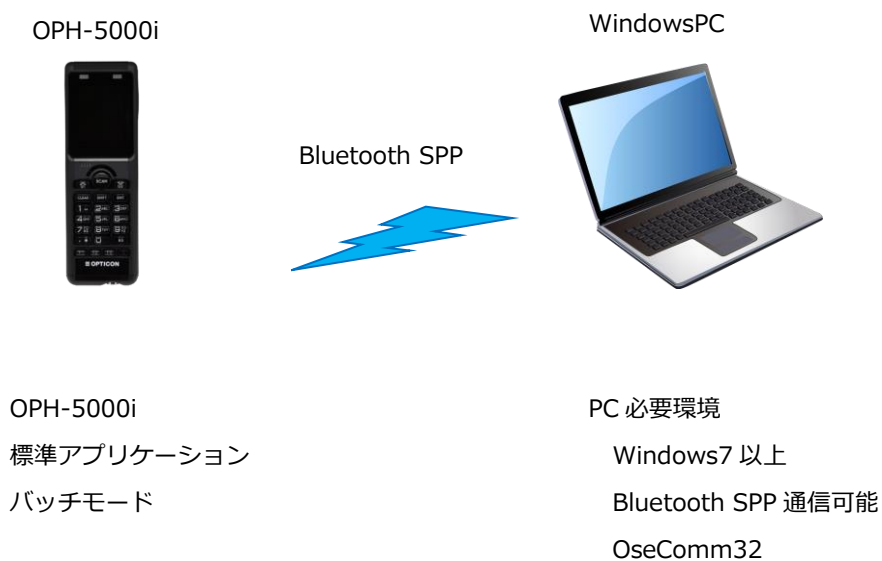
AZTECREAD=0,0

初期バーコード読取条件設定項目(BARCODE.INI)

```
[BARCODE]
C39READ=1,1,0,0
NW7READ=1,1,0,0
WPCREAD=1,0
STFREAD=1,1
ITFREAD=1,1
C93READ=1
C128READ=1,0
GS1READ=0,0,0
PDFREAD=0,0
QRREAD=1,0
MAXIREAD=0
AZTECREAD=0,0
$TERM$
```

4 通信環境設定手順

この章では、OPH-5000i で収集したデータを Bluetooth にて PC 側へ送信するための環境を構築する手順を説明しています。



4.1 セットアップ

P C ・ OPH-5000i のセットアップ方法を説明します。

4.1.1 OseComm32 のインストール方法[PC 設定]

- ① 圧縮ファイル(SetupOseComm32.zip)を解凍してください。

 SetupOseComm32.exe	2016/02/17 14:08	アプリケーション	1,198 KB
--	------------------	----------	----------

- ② 解凍した EXE ファイル(SetupOseComm32.exe)を実行してください。

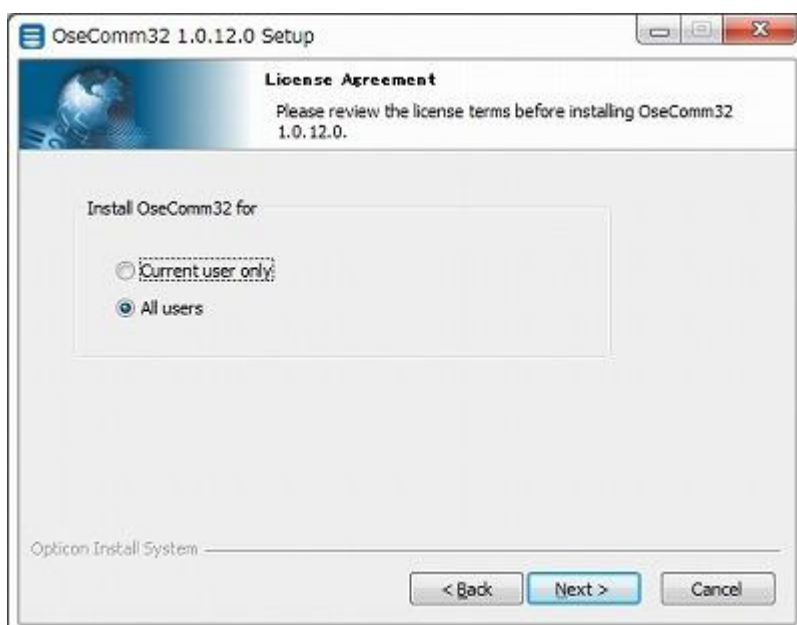
- ③ インストーラが起動しますので「Next>」をクリックしてください。



- ④ ライセンスや注意事項が表示されます承諾する場合、「I Agree」をクリックしてください。

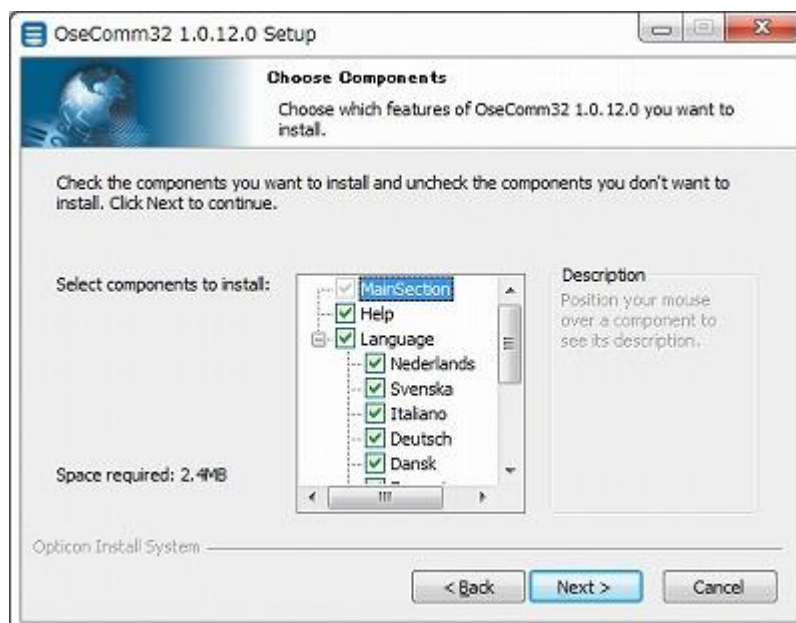


- ⑤ 「All users」をチェックしてから「Next>」をクリックしてください。



- ⑥ インストールコンポーネント選択が表示されます「Next>」をクリックしてください。

※不要な言語のチェックを外すと PC のディスク容量を節約できます。



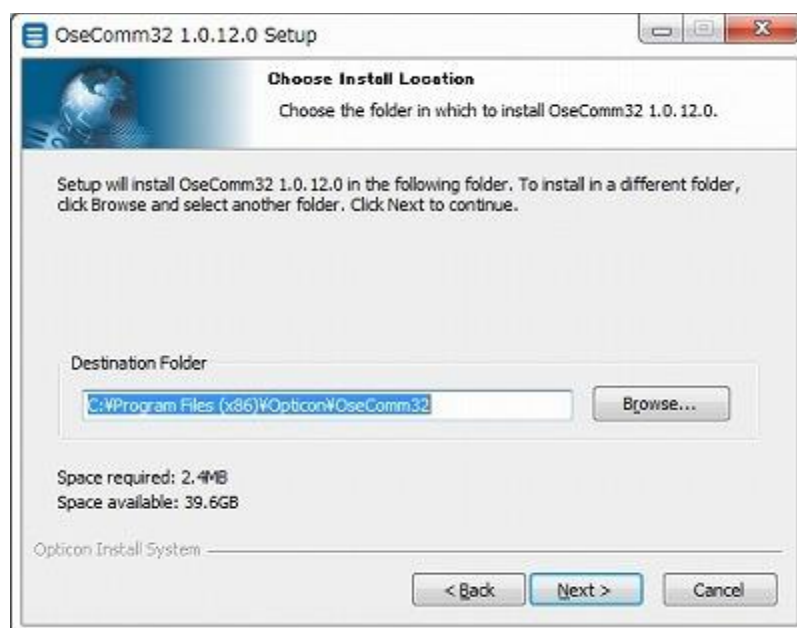
- ⑦ 言語選択が表示されます「Japanese」を選択して「Next>」をクリックしてください。

1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方は「English」を選択して「Next>」をクリックしてください。

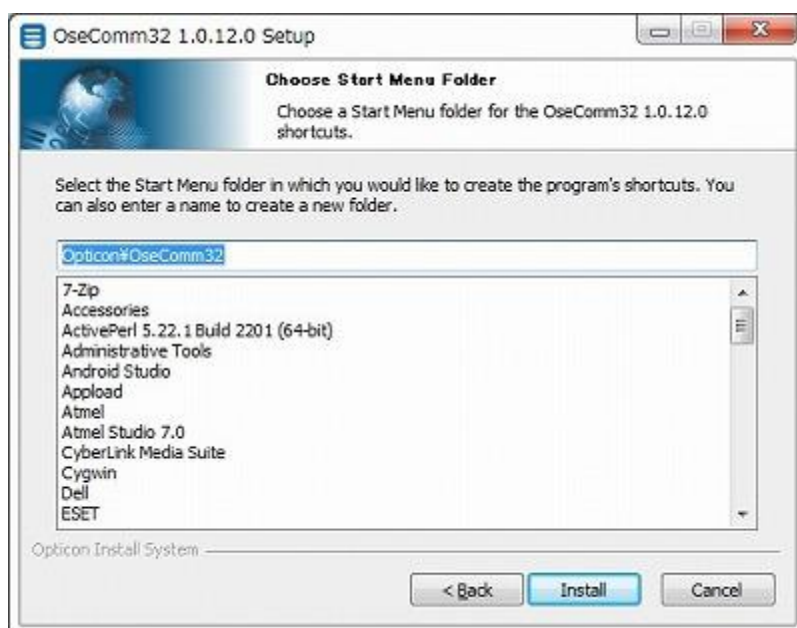
※1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方はインストール終了後、「2.1.2 の OseComm32 日本語表示化方法」の作業が必要です。



- ⑧ インストール場所を指定して「Next>」をクリックしてください。



- ⑨ スタートメニューフォルダ選択が表示されます「Install」をクリックしてください。



- ⑩ ショートカットをデスクトップに作成する場合、「はい」をクリックしてください。



- ⑪ インストールが完了しました「Finish」をクリックすると OseComm32 が起動します。



4.1.2 OseComm32 の日本語表示方法[PC 設定]

1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方は OseComm32 インストール時に日本語表示に対応していません。

下記手順を行う事で OseComm32 の日本語表示が可能になります。

- ① OseComm32 の日本語フォントファイルを解凍します。

上記日本語フォント圧縮ファイル(OseCommLanguage_JP.zip)を解凍すると以下のファイルが作成されます

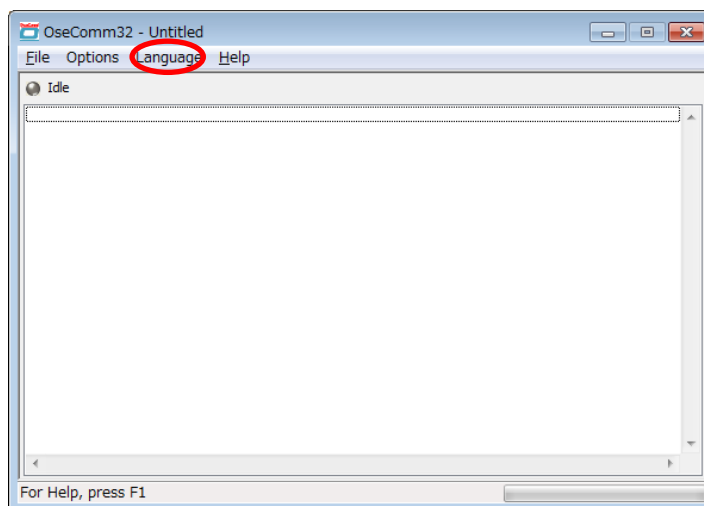
OseCommLanguage_JP.dll

- ② 解凍したフォントファイルを OseComm32 の Language フォルダにコピーします。

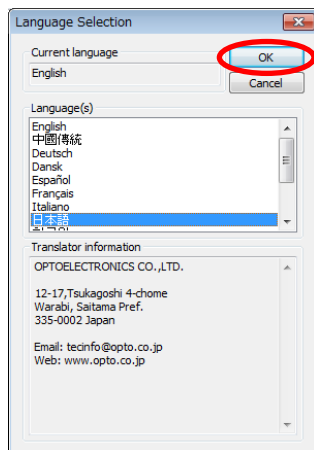
例) 「C:¥Program Files(x86)¥Opticon¥OseComm32¥Language」

※環境によってフォルダが変わることがありますのでご注意ください

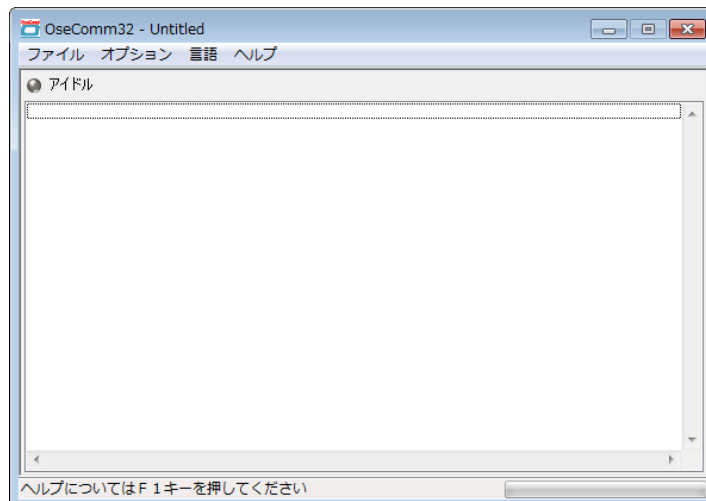
- ③ 表示言語を日本語に変更します「Language」をクリックしてください。



- ④ 言語選択ダイアログが表示されます「Language(s)」より「日本語」を選択して「OK」をクリックしてください。



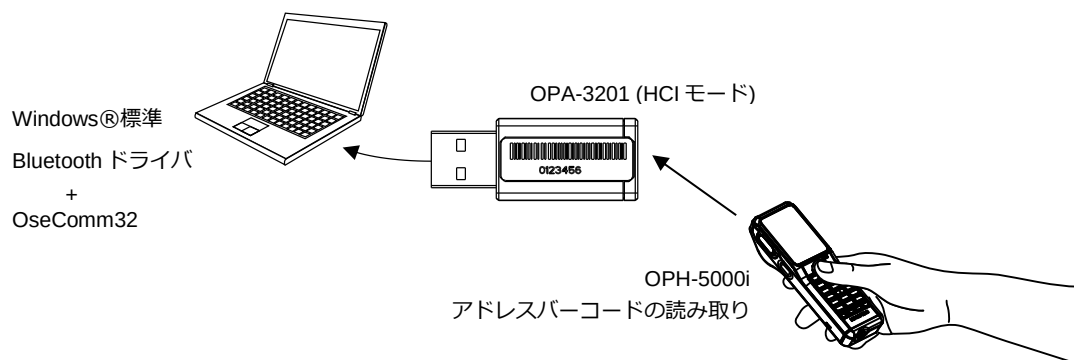
- ⑤ 日本語表示に変更されます。



4.1.3 Bluetooth を使用する場合の設定方法[PC 設定]

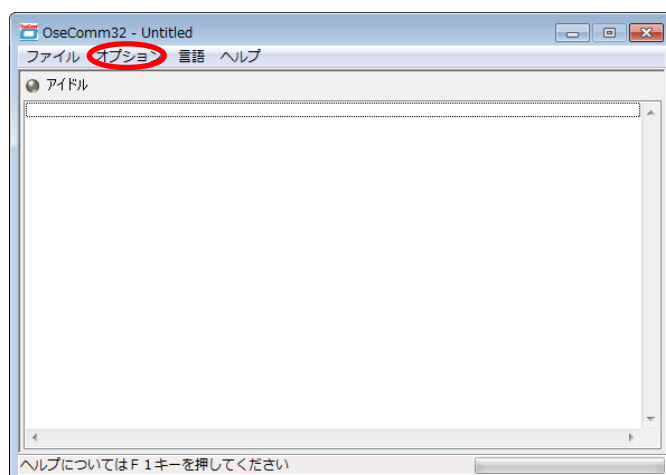
この章では OPH-5000i と OseComm32 を使用してデータ転送を行うまでの設定方法について説明しています。

Bluetooth の着信ポートの作成や設定は Windows® に標準搭載されている Bluetooth ドライバのご使用を前提にしていますので、サードパーティ製のドライバをお使いの場合にはそちらのドキュメントを参照して下さい。

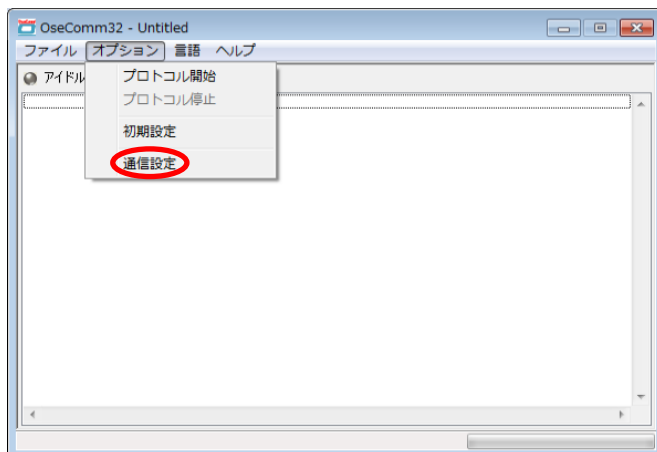


「OseComm32 の通信設定を行います。

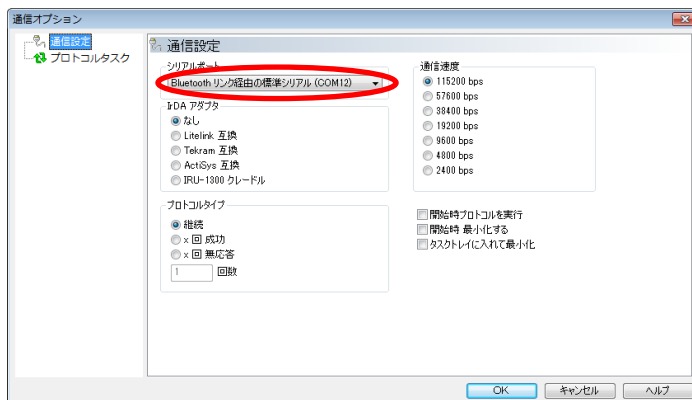
- ① メニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。



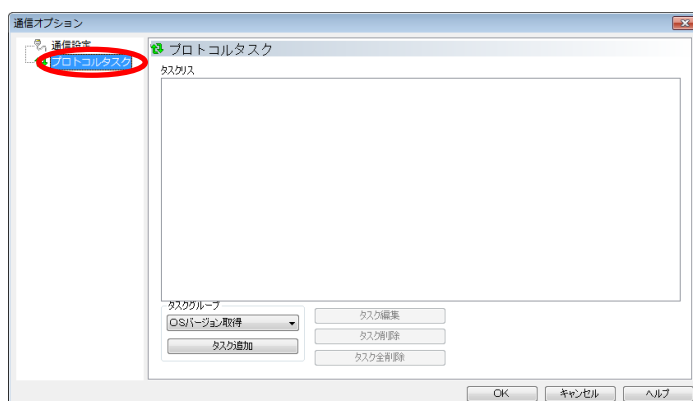
- ② ドロップダウンより「通信設定」をクリックしてください。



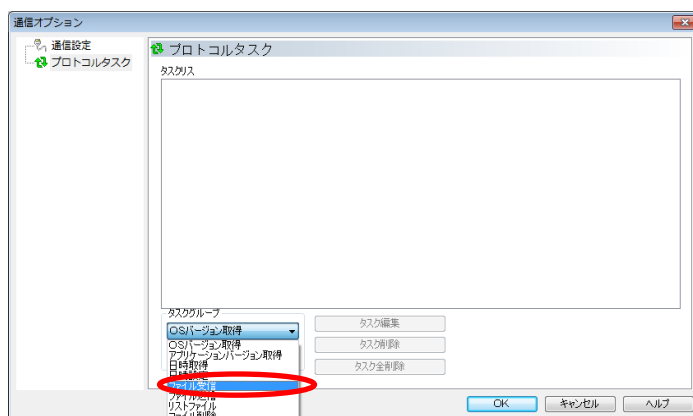
- ③ 通信オプション画面でシリアルポートを確認して Bluetooth 受信ポートを指定してください。



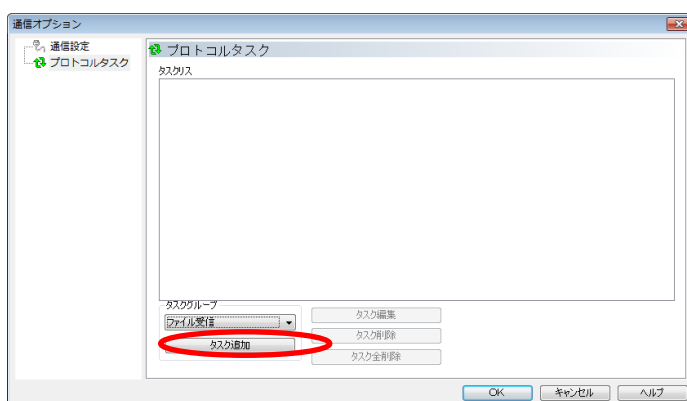
- ④ プロトコルタスク設定を行います「プロトコルタスク」をクリックしてください。



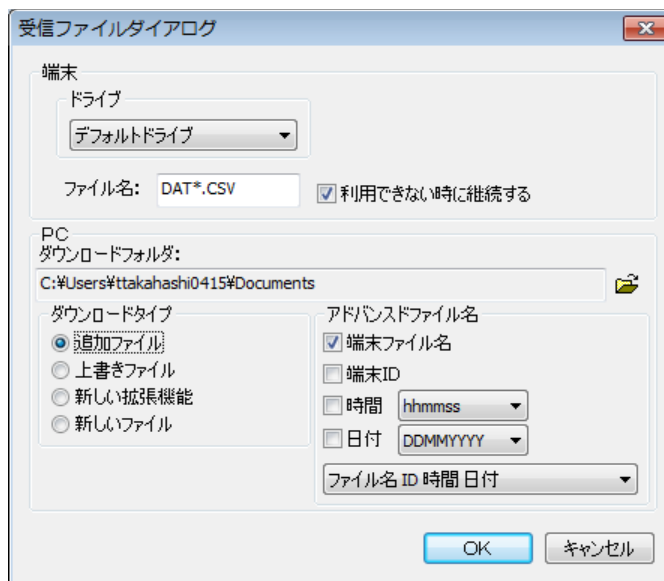
- ⑤ バッチモード通信用設定を行います「ファイル受信」をクリックしてください。



- ⑥ ファイル受信を行うタスクを追加したいので「タスク追加」をクリックしてください。



- ⑦ ファイル受信タスクの詳細設定を行います。設定完了したら「OK」をクリックしてください。



【各項目の設定値】

ファイル名 : DAT*.CSV と設定します。

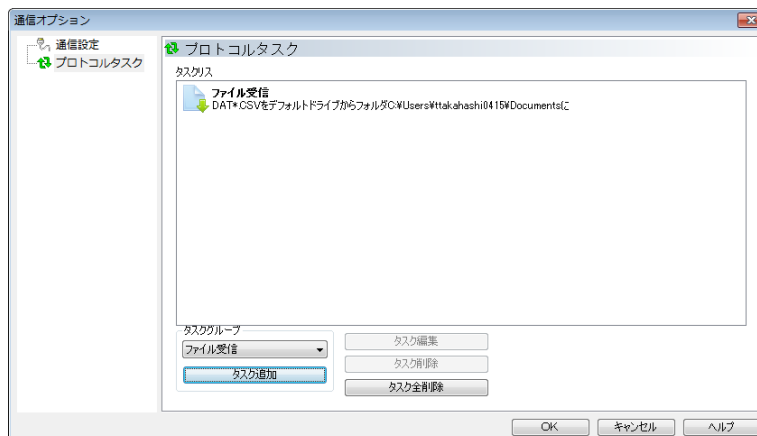
「利用できない時に継続する」にチェックをします。

ダウンロードフォルダ : 任意の保存場所を指定してください。

ダウンロードタイプ : 追加ファイル、または上書きファイルを選択してください。

アドバンスドファイル名 : ファイル名を変更したい場合は任意に設定してください。

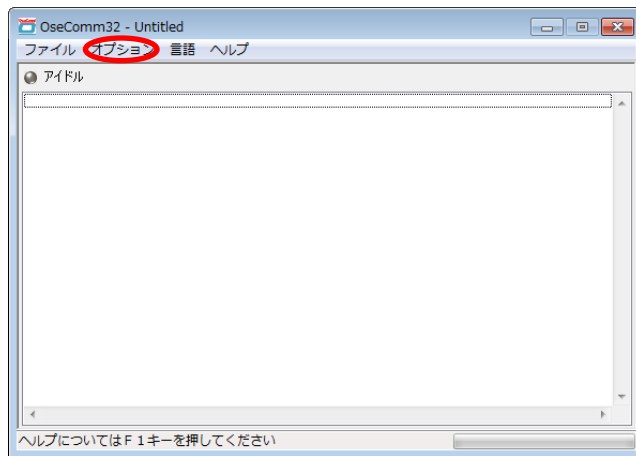
- ⑧ 設定したタスクがタスクリストに表示されます「OK」をクリックしてください。



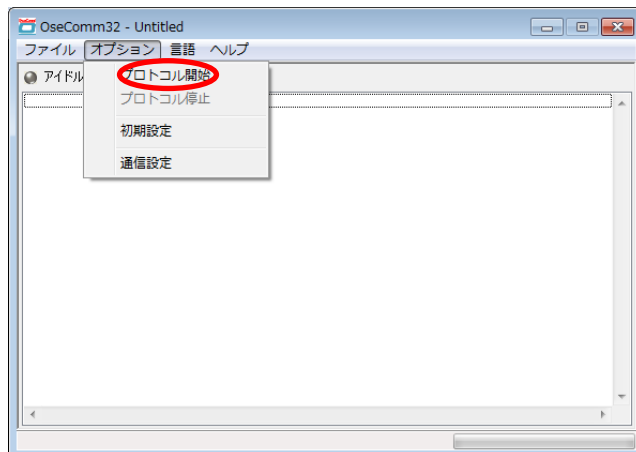
4.1.4 OseComm32 通信開始方法[PC 設定]

OseComm32 を通信可能状態にします。

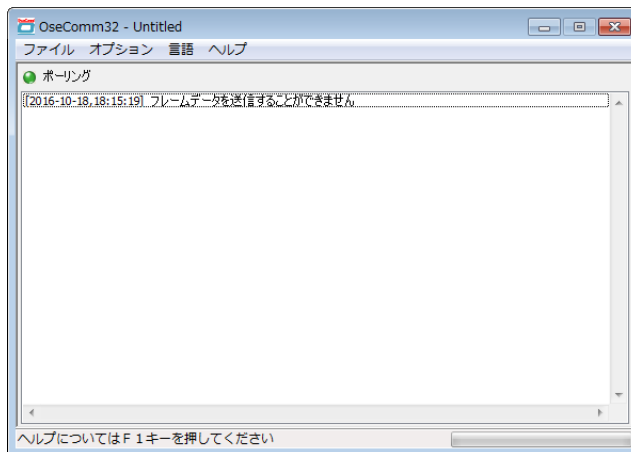
- ① OseComm32 を起動してメニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。



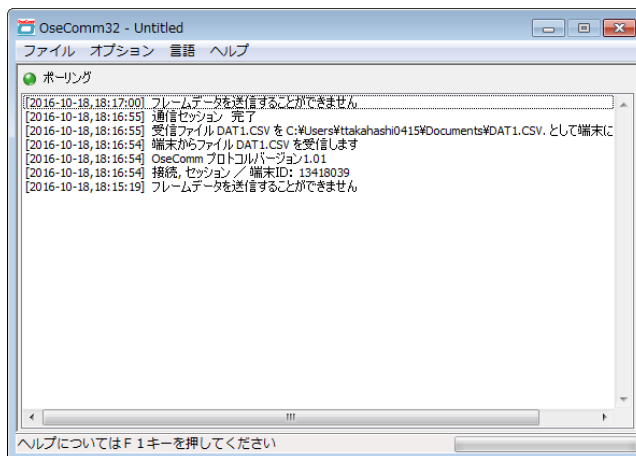
- ② ドロップダウンより「プロトコル開始」をクリックしてください。



- ③ ポーリングが開始され暫く経つと「フレームデータを送信することができません」とメッセージが表示されます。



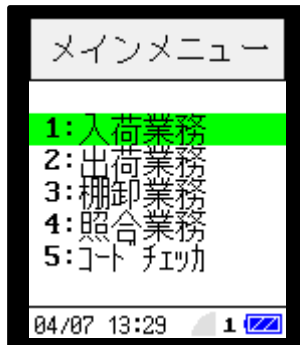
- ④ OPH-5000i からデータを送信すると以下の様なメッセージと共にファイルを受信します。



4.1.5 OPH-5000i の起動アプリケーション[OPH-5000i 設定]

起動時のアプリケーションを設定します。

- ① OPH-5000i の初期状態は標準アプリが起動します。

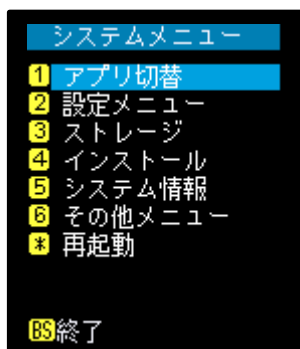


ピッという音がなり左の画面が表示された場合

バッチモードが起動しております。

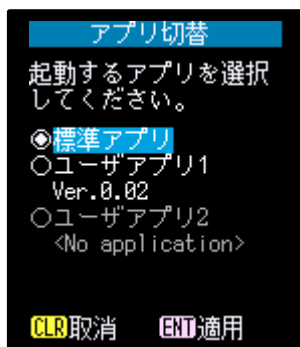
もしバッチモードが起動しない場合はシステムメニューを起動して標準アプリが起動する様に設定を変更してください。

- ② システムメニューを起動します。



[アプリケーションの画面で[Q1]キーと[Q2]キーを同時に 2 秒以上押し続けると、システムメニューが表示されます。

- ③ システムメニューの「1 アプリ切替 → 標準アプリ」を選択します。



標準アプリを選択します。

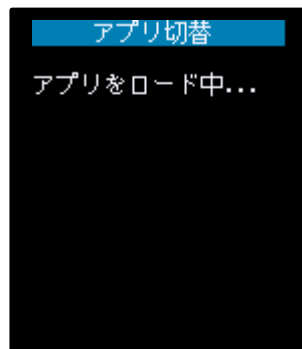
「ENT」キー：

選択が変更されているときは変更を適用し、システムメニューに戻ります。

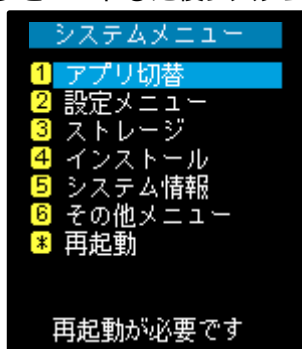
「CLEAR」キー：

変更を破棄し、システムメニューに戻ります

- ④ [ENT]キーを確定するとアプリをロード中になります。



- ⑤ アプリをロードした後システムメニューに戻り、「*再起動」を選択し再起動をします。



[Q1]キー、[Q2]キーでカーソルを移動させ「*再起動」にきたら[SCAN]キーまたは[ENT]キーで決定します。

(テンキーの[*]を押下しても再起動が選択されます。)

- ⑥ OPH-5000i が再起動され標準アプリケーションが起動します。



4.2 通信事前準備

PC・OPH-5000i の通信前に事前準備手順を説明します。

4.2.1 シリアル通信による設定[PC 設定]

- ① OseComm32 の起動を行います。

OseComm32 をプロトコル開始してポーリング状態にしてください。

「4.1.4 OseComm32 通信開始方法[PC 設定]」を参照してください。

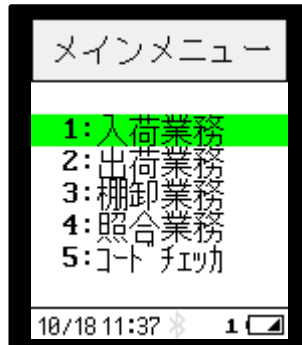
データコレクタで使用している Bluetooth ドングルは BluetoothHID 専用となります。

BluetoothSPP 通信が可能な Bluetooth ドングルを使用してください。

4.2.2 OPH-5000i 側通信事前準備[OPH-5000i 設定]

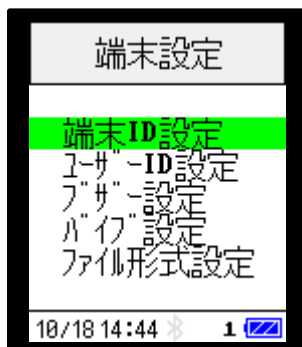
① PC 側とのペアリングを行います。

② OPH-5000i の電源を投入します。



ピッという音が鳴り左の画面が表示されたら
[F1]キーを押下して端末設定メニューを起動して
ください。

③ 端末設定メニューを起動します。



[Q1]キー[Q2]キー押下でカーソルを移動させ
「Bluetooth 設定」を選択してください。

④ Bluetooth 設定を選択します。



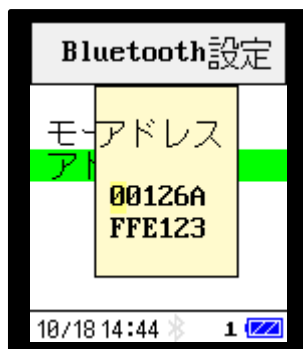
「Bluetooth 設定」にカーソルがきたら
[ENT]キーを押してください。

- ⑤ BD アドレスの設定を行います。



[Q1]キー[Q2]キー押下でカーソルを移動させ
「アドレス」にきたら[ENT]キーを押下して
ください。

- ⑥ BD アドレスの設定を行います。



[スキャン]キーで BD アドレスのバーコードを読み取り
設定を行います。

入力完了しましたら[ENT]キーを押して端末設定メニュー
に戻ります。

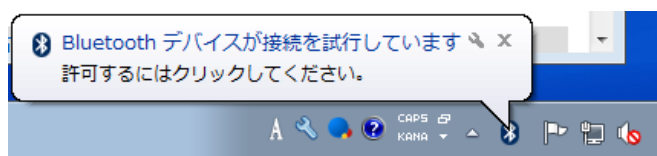
- ⑦ 通信の確認を行います。

「入荷業務方法」を参照してデータの入力した後

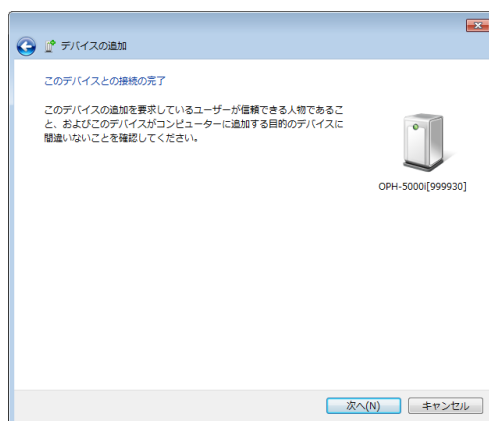
「Bluetooth 通信」を参照して通信を行ってください。

画面に送信中と表示されてペアリングが開始します。

- ⑧ 通信を開始すると PC 側からデバイス接続の確認を要求してきます。
吹出しをクリックしてください。



- ⑨ デバイスの追加ダイアログが表示されます「次へ」をクリックしてください。



- ⑩ デバイスの追加が完了しました「閉じる」をクリックして終了してください。

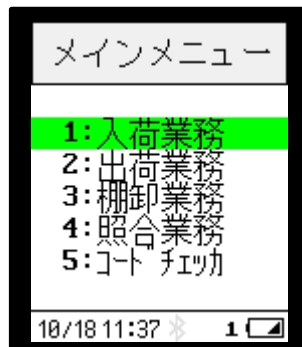


4.3 通信実施

OPH-5000i の入荷業務を参考にデータ通信手順を説明します。

4.3.1 入荷業務方法

- ① OPH-5000i の電源を投入し入荷業務を選択します。



[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。
「入荷業務」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に移行します。
(テンキーから[1]キー押下しても移行します)

- ② 商品コードを入力します



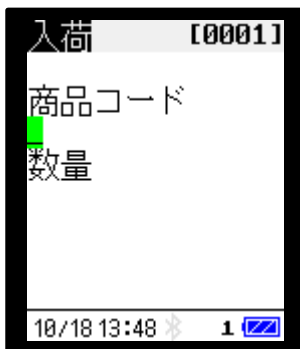
[SCAN]キーにてバーコードを読取ります。
読み取り後自動的に数量入力に移行します。

- ③ 数量を入力します。



[デンキー]にて数量を入力します。
数量入力後[ENT]キーで確定します。

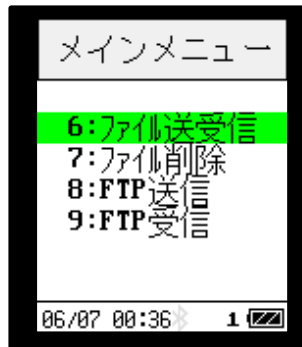
- ④ 入力データが登録され件数がカウントアップされます。



右上の件数がカウントアップして商品コード入力に移行
します。
あとは②～③を繰り返すとデータを登録していきます。
終了する場合は[CLEAR]キーを押してください。

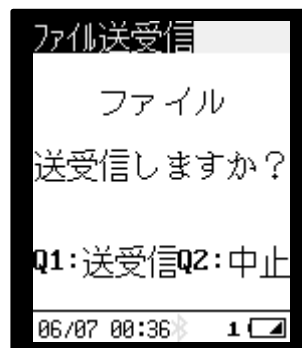
4.3.2 ファイル送受信

- ① OPH-5000i のメインメニューから「ファイル送受信」を選択します。



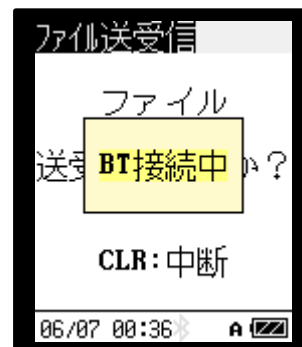
[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。
「6:ファイル送受信」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に移行します。
(テンキーから[6]キー押下しても移行します。)

- ② ファイル送受信の確認が行われるので開始します。



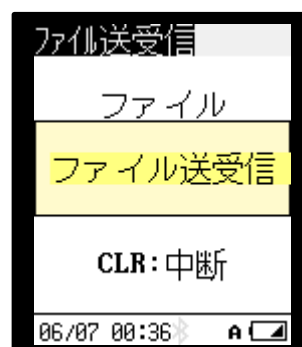
[Q1]キーにてファイル送受信を開始します。
[Q2]キーにて②に戻ります。

- ③ ファイル送受信が開始されます。



Bluetooth で接続を開始します。

- ④ ファイル送受信中の画面が表示されます。



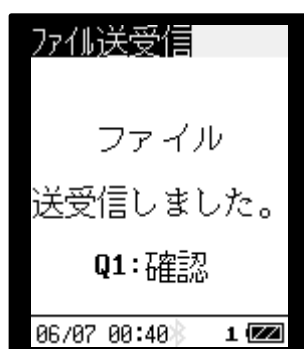
ファイル送受信を行っています。
[CLEAR]キーにて中断が可能です。

- ⑤ ファイル送受信中の進捗状況画面が表示されます。



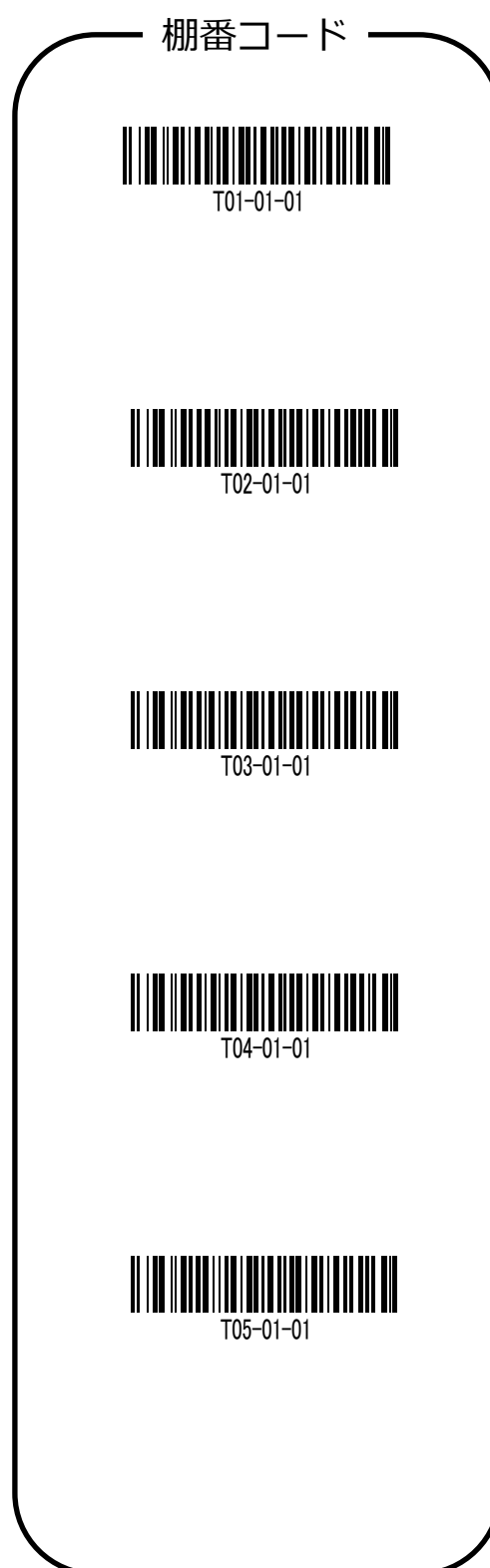
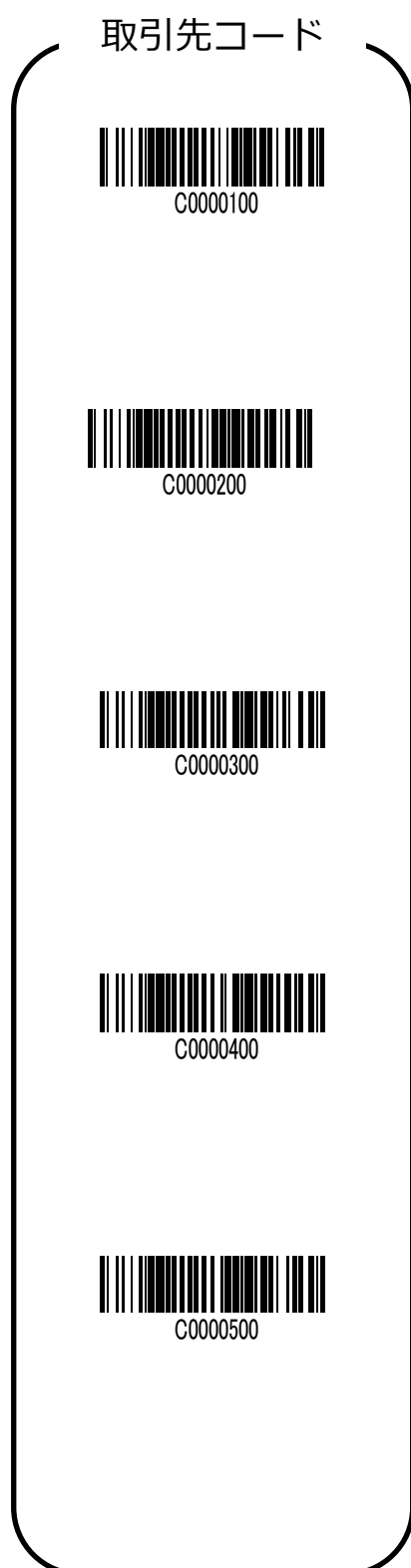
ファイル送受信を行っています。
[CLEAR]キーにて中断が可能です。

- ⑥ ファイル送受信が正常終了したら完了です。



[Q1]キーを押すとメインメニューに戻ります。

4.4 サンプルバーコード





ハンドヘルド CCD タッチ式スキャナ
C-40



AS99001



ハンドヘルド CCD スキャナ
C-41



AS99002



ハンズフリー
オムニディレクショナル
イメージスキャナ M-10



AS99003



Bluetooth 搭載
超コンパクトサイズ
データコレクタ OPN-4000



AS99004



Bluetooth 搭載
超コンパクトサイズ
データコレクタ OPN-3002



AS99005

改版履歴

Doc ID: TS16060

製品名: OPH-5000i

版数	日付	変更箇所	変更内容
初版	2016/11/17	-	(初版発行)
第 2 版	2017/02/09	-	ドキュメントフォーマットを変更 段落などの修正 画面構成を変更
		-	表紙およびリンク先の間違い修正
		3.3	業務設定項目 移行先の説明文を変更 'マスタ参照', '結果 X 座標', '結果 Y 座標', '結果表示後動作', '不一致時動作' 項目を追加
		3.3	初期業務設定項目に'マスタ参照', '結果 X 座標', '結果 Y 座標', '結果表示後動作', '不一致時動作'項目を追加
		3.4	'ファイル名形式'項目を追加
第 3 版	2017/05/26	-	ドキュメントフォーマットを変更 段落などの修正 画面構成を変更
		2.1.1	メインメニュー画面に「ファイル受信」を追加
		2.10	ファイル受信業務画面説明を追加
		2.11	FTP モード選択を追加
第 4 版	2017/11/30	2.2	「収集業務共通動作札名」に変更モードを追加
		2.3.1	「入荷業務画面遷移」に変更モードを追加
		2.4.1	「出荷業務画面遷移」に変更モードを追加
		2.5.1	「棚卸業務画面遷移」に変更モードを追加
		2.11.1	「端末設定業務画面遷移」の「通信方式設定」に「USB」を追加
		3.1	「タイトル設定項目」の「初期タイトル設定項目」を変更
		3.2	「メニュー設定項目」の「初期メニュー設定項目」を変更
		3.3	「業務設定項目」の「初期業務設定項目」を変更
		3.4	「ファイル設定項目」の「ID 区分」を変更
		3.5	「照合設定項目」の「照合開始位置」を追加
第 5 版	2018/4/3	2.8	注意事項を追加
		2.10	注意事項を追加

第 6 版	2020/6/10	2.11	FTP モード選択を削除
		4	通信環境設定手順の追加
		2.8	ファイル送信業務画面説明をファイル送受信業務画面説明に変更
		2.9	画面表示に従い、ファイル消去をファイル削除に変更
		2.10	ファイル受信画面説明を FTP 送信業務画面説明に変更
		2.11	FTP 受信業務画面説明追加
		2.12	端末設定業務画面説明を 2.11 から移動
		2.13	バーコード読み取り条件設定画面説明を 2.12 から移動
		3.3	業務設定項目追フォーマット追加
		3.9	FTP 通信設定項目追加
		4.1.5	OPH-5000i の起動アプリケーションの修正
		4.3.2	ファイル送受信追加

OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード取扱説明書

第6版 2020年6月発行

株式会社オプトエレクトロニクス

本社 〒335-0002
埼玉県蕨市塚越 4-12-17

TEL 048-446-1183

FAX 048-446-1184

E-mail sales@opto.co.jp

URL <http://www.opto.co.jp/>

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO.,LTD.

All rights reserved.

≡ OPTICON